

鳥取県がん検診実績報告書

平成13年 3月

鳥 取 県
鳥取県健康対策協議会

は　じ　め　に

鳥取県における“がん検診”は、胃集団検診（胃集検）事業が嚆矢であります。昭和37年、エーザイ株式会社の検診車を利用して、鳥取大学医学部第2内科の有志によるモデル事業が開始され、施設検診としては昭和39年鳥取県立厚生病院においてX線テレビのモニター写真による検診が試行されています。

昭和41年11月、鳥取県対がん協会により全県的に胃集団検診事業が本格的にスタートしました。さらに、昭和44年9月には東・中・西部医師会に胃集検フィルム読影委員会が設立され、胃集検に普及に対応するフィルム読影の体制が確立されました。

更に、子宮がん検診は医療機関での施設検診として昭和42年より実施されており、これらの事業は、昭和46年に鳥取県健康対策協議会（健対協）が発足して、胃がん検診、子宮がん検診とも、対策専門委員会を設け、健対協事業として衣替えをしています。

また、昭和58年に老人保健法が施行され、昭和63年に肺がん、乳がん検診が、平成4年には大腸がん検診が、また、平成7年度からは鳥取県独自の事業として肝臓がん検診が開始され、現在、健対協事業として6項目のがん検診を制度化しています。

全国に先駆けて行った肝臓がん検診は平成12年度で終了する予定でありましたが、国の動きとして、平成12年11月に「肝炎対策プロジェクトチーム」の設置、「肝炎対策に関する有識者会議」の開催など、肝臓がん対策についての検討が本格的に進められており、肝臓がん検診及び陽性者へのフォローアップを実施している本県の先進的な取り組みに対して注目されています。

他方、昭和59年に県に成人病検診管理指導協議会が設置され、各がん検診の精度管理を指導してきましたが、昭和63年からこの事業が健対協に委託され、対策専門委員会と検診管理指導協議会各部会との合同委員会を開催し、精度管理の向上に努めてまいりました。

特に平成7年度からは、精密検査登録指定医療機関においては、検診従事者講習会への出席の義務化や医療装置の整備を段々と厳しくしているところであります。

平成6年度に、がん検診の精度向上を一層高めるため、「がん検診精度確保事業」が施行されました。その事業の一環として各がん検診に関する全ての記録を一括してまとめ、鳥取県におけるがん検診の実態を総括する意味で平成7年3月に第1報を発刊いたしました。今回は第7報となります。

平成10年度からはがん検診事業費が一般財源化され、市町村の自主判断に委ねられましたが、がん検診の継続と推進のための鳥取県がん検診推進協議会が設置されました。

本書は不備な点もあるかと思いますが、精度管理向上の一助となれば幸いです。

平成13年3月

鳥取県健康対策協議会

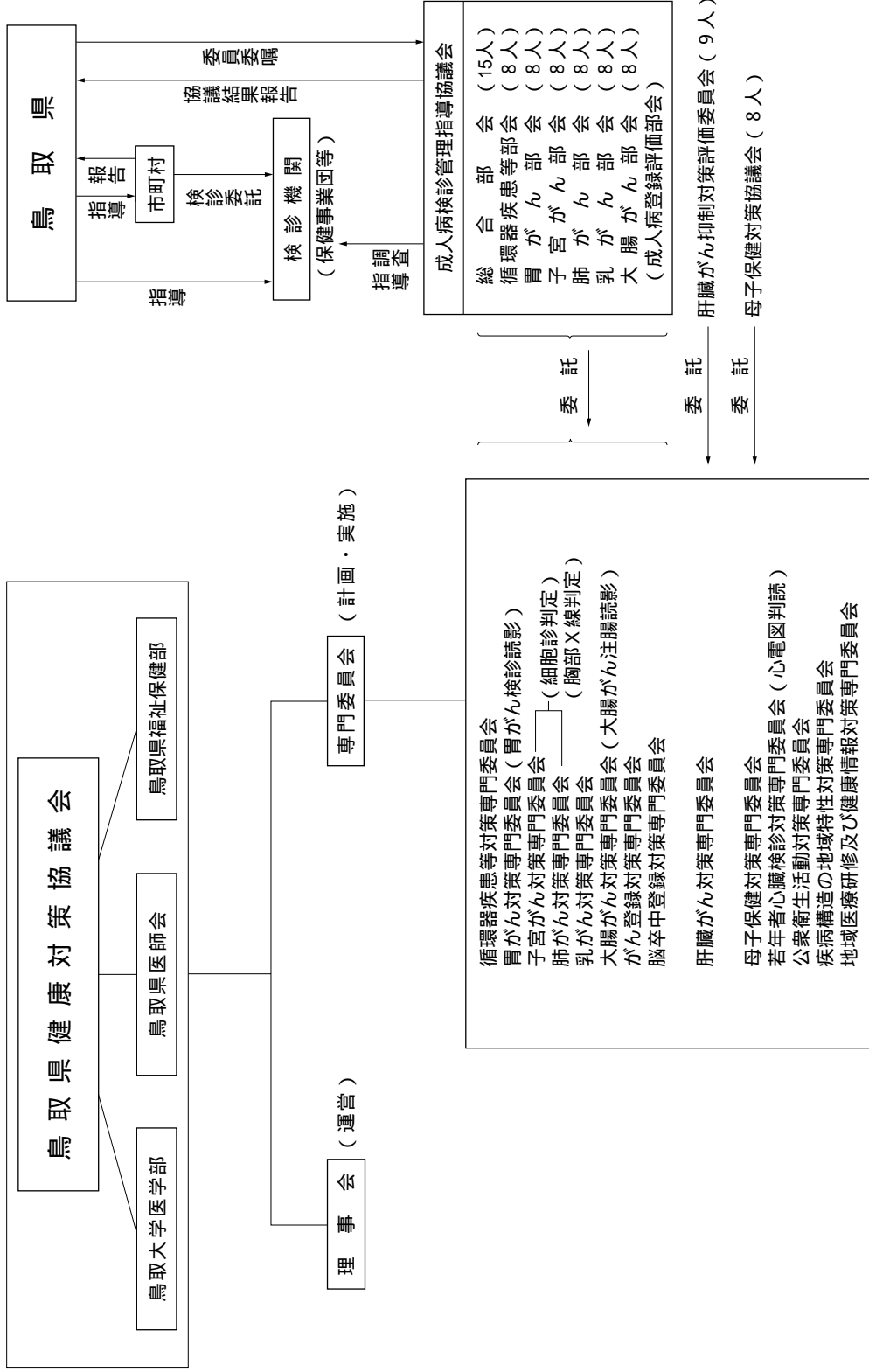
会　長　長　田　昭　夫

目 次

・ 鳥取県健康対策協議会の構成及び組織図.....	1
・ 平成11年度各がん検診事業実績	
1 . 胃がん検診.....	3
2 . 子宮がん検診.....	13
3 . 肺がん検診.....	22
4 . 乳がん検診.....	38
5 . 大腸がん検診.....	46
6 . 肝臓がん検診.....	59
7 . 全国がん検診実績との比較.....	73
・ 平成12年度各がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況	
1 . 胃がん検診症例研究会報告.....	79
2 . 子宮がん検診症例研究会報告.....	81
3 . 肺がん検診症例研究会報告.....	82
4 . 乳がん検診症例研究会報告.....	85
5 . 大腸がん検診症例研究会報告.....	87
6 . 肝臓がん検診症例研究会報告.....	89
7 . 各地区がん検診症例検討会開催状況.....	92
・ 各がん検診精密検査医療機関登録について.....	93

鳥取県健康対策協議会と成人病検診精度管理組織図

(昭和46年1月26日発足)



・平成11年度各がん検診事業実績

1 . 胃 が ん 検 診

1 . 胃がん検診実績

平成11年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は174,021人で、このうち受診者数は39,783人（車検診：22,369人、施設検診：17,414人）で、受診率は22.9%であった。平成10年度より受診者数は1,382人減少し、受診率は1.1ポイント減少した。受診者数、率とも減少傾向である。また依然市部の受診率が低い。

車検診が占める割合が、平成10年度に引き続いて6割を割った。また、一次検診受診者の経年受診率は57.6%であった。

要精検者数は6,464人（車検診：2,992人、施設検診：3,472人）、要精検率は16.2%（車検診：13.4%、施設検診：19.9%）で、前年度と比べ要精検率は2.1ポイント減少している。

このうち、精密検査を受診したのは、4,894人、精検受診率は75.7%で、前年度と比べ0.3ポイント増加している。

精検結果は胃がん82人、胃がん疑い8人、がん発見率は0.23%であった。

年代別にみると、受診率は65～69歳、要精検率、がん発見率は80歳以上がそれぞれ最も高かった。

平成11年度の全国平均は受診率13.1%、要精検率11.9%、がん発見率0.17%である。鳥取県の受診率は全国第12位で、要精検率、がん発見率はともに全国平均を上回っている。

2 . 胃がん検診発見胃がん追跡調査結果

平成11年度に発見された胃がんまたは胃がん疑いについて追跡調査を行った。その結果、確定胃がん数は82例（車検診39例、施設検診43例）であった。

このうち、切除例数は77例（うち内視鏡切除8例を含む）で、内訳は早期癌52例（車検診23例、施設検診29例）、進行癌30例（車検診16例、施設検診14例）で早期癌率は63.4%で、平成10年度より約7%も低かった。

男性58例・女性24例で、年齢別にみると、男女とも70～79歳のがん発見が多かった。

早期胃がんの肉眼分類はⅠcが50.0%、進行癌の肉眼分類はBorrⅠ型が30.0%と多かった。

切除例の深達度は「t1」が62.2%を占めた。また、切除例の大きさは、直径2cm以内が38.4%で、特に車検診では48.6%で、昨年度より小さな癌が多く発見された。

東部地区の発見がん率が0.137%と低い。これは、鳥取市の精検受診率が66.5%と低いこと、特に施設検診の精検受診率が低いことが影響しているのではないと思われる。

(1) 胃がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
一次検診	対象者数(人)	177,037	176,816	183,662	175,612	171,250	174,021
	受診者数(人)	47,643	46,923	44,831	44,192	41,165	39,783
	受診率(%)	26.9	26.5	24.4	25.2	24.0	22.9
一次検診結果	異常認めず(人)	37,524	37,421	36,072	35,782	33,639	33,319
	要精検者数(人)	10,119	9,502	8,759	8,410	7,526	6,464
	要精検者の割合(%)	21.2	20.3	19.5	19.0	18.3	16.2
精密検査	受診者数(人)	8,004	7,404	6,659	6,523	5,671	4,894
	受診率(%)	79.1	77.9	76.0	77.6	75.4	75.7
精密検査結果	胃がん又はがんの疑いのある者(人)	137	121	114	103	95	90
	胃がん発見率(%)	0.29	0.26	0.25	0.23	0.23	0.23

(2) 平成11年度胃がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受 診 者 数(人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	744	1,326	132	121	612	1,205	17.7	9.1
45 ~ 49	917	1,742	172	183	745	1,559	18.8	10.5
50 ~ 54	1,107	2,513	254	289	853	2,224	22.9	11.5
55 ~ 59	1,078	3,081	202	368	876	2,713	18.7	11.9
60 ~ 64	2,041	4,417	446	528	1,595	3,889	21.9	12.0
65 ~ 69	3,036	5,239	670	745	2,366	4,494	22.1	14.2
70 ~ 74	2,780	4,178	631	646	2,149	3,532	22.7	15.5
75 ~ 79	1,535	2,220	339	366	1,196	1,854	22.1	16.5
80歳以上	812	1,017	178	194	634	823	21.9	19.1
計	14,050	25,733	3,024	3,440	11,026	22,293	21.5	13.4
合 計	39,783		6,464		33,319		16.2	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	78	81	59.1	66.9
45 ~ 49	109	142	63.4	77.6
50 ~ 54	141	232	55.5	80.3
55 ~ 59	146	286	72.3	77.7
60 ~ 64	294	433	65.9	82.0
65 ~ 69	494	600	73.7	80.5
70 ~ 74	508	523	80.5	81.0
75 ~ 79	268	286	79.1	78.1
80歳以上	137	136	77.0	70.1
計	2,175	2,719	71.9	79.0
合 計	4,894		75.7	

年 齢	精 密 検 査 結 果								胃がん発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	26	43	52	38	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	31	65	76	75	0	0	2	2	0.218	0.115
50 ~ 54	41	95	97	137	1	0	2	0	0.271	0.000
55 ~ 59	43	97	101	189	0	0	2	0	0.186	0.000
60 ~ 64	80	148	210	285	1	0	3	0	0.196	0.000
65 ~ 69	127	205	355	388	1	0	11	7	0.395	0.134
70 ~ 74	138	176	347	339	1	1	22	7	0.827	0.191
75 ~ 79	66	95	191	186	0	1	11	4	0.717	0.225
80歳以上	33	42	100	87	0	2	4	5	0.493	0.688
計	585	966	1,529	1,724	4	4	57	25	0.434	0.113
合 計	1,551		3,253		8		82		0.226	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)		一次検診結果				要精検率(%)	
			要精検者数		異常認めず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	7,866	14,503	1,506	1,486	6,360	13,017	19.1	10.2
病院	1,867	3,241	595	721	1,272	2,520	31.9	22.2
診療所	4,317	7,989	923	1,233	3,394	6,756	21.4	15.4
計	14,050	25,733	3,024	3,440	11,026	22,293	21.5	13.4
合計	39,783		6,464		33,319		16.2	

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
保健事業団	1,084	1,240	72.0	83.4
病院	400	500	67.2	69.3
診療所	691	979	74.9	79.4
計	2,175	2,719	71.9	79.0
合計	4,894		75.7	

一次検診機関	精密検査結果								胃がん発見率(%)	
	異常認めず		その他の疾病		胃がん疑い		胃がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	292	481	762	749	3	1	27	9	0.381	0.069
病院	132	205	264	292	1	1	3	2	0.214	0.093
診療所	161	280	503	683	0	2	27	14	0.625	0.200
計	585	966	1,529	1,724	4	4	57	25	0.434	0.113
合計	1,551		3,253		8		82		0.226	

4)平成11年度鳥取県胃がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果				人員						
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J	K=J/H	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D
鳥取市	37,800	642	5,612	6,254	16.5	68	1,193	1,261	20.2	839	66.5	281	544	3	11	558	0.224
米子市	39,095	973	6,174	7,147	18.3	98	1,170	1,268	17.7	1,017	80.2	261	731	0	25	756	0.350
倉吉市	11,857	1,332	330	1,662	14.0	250	121	371	22.3	265	71.4	80	183	1	1	185	0.120
境港市	11,358	170	1,536	1,706	15.0	24	226	250	14.7	216	86.4	48	163	0	5	168	0.293
国府町	1,391	577	70	647	46.5	47	13	60	9.3	50	83.3	26	23	0	1	24	0.155
岩美町	3,081	841	197	1,038	33.7	74	66	140	13.5	114	81.4	32	81	0	1	82	0.096
福部町	1,113	145	173	318	28.6	12	34	46	14.5	20	43.5	10	10	0	0	10	0.000
鞆家町	1,664	744	107	851	51.1	72	27	99	11.6	68	68.7	22	44	0	2	46	0.235
船岡町	1,472	557	34	591	40.1	46	8	54	9.1	34	63.0	21	12	0	1	13	0.169
河原町	3,641	469	272	741	20.4	59	63	122	16.5	71	58.2	29	42	0	0	42	0.000
八東町	1,913	649	649	649	33.9	84	13	84	12.9	74	88.1	23	50	0	1	51	0.154
若桜町	1,630	461	137	598	36.7	45	4	58	9.7	45	77.6	18	26	0	1	27	0.167
用瀬町	627	356	30	386	61.6	43	4	47	12.2	36	76.6	11	25	0	0	25	0.000
佐治村	1,138	251	171	422	37.1	23	10	33	7.8	24	72.7	13	10	1	0	11	0.237
智頭町	5,638	1,012	85	1,097	19.5	120	22	142	12.9	108	76.1	40	67	0	1	68	0.091
気高町	2,180	559	448	1,007	46.2	59	87	146	14.5	114	78.1	67	44	2	1	47	0.298
鹿野町	1,405	43	686	729	51.9	2	90	92	12.6	82	89.1	22	59	0	1	60	0.137
曹谷町	3,319	656	90	746	22.5	113	30	143	19.2	108	75.5	52	55	0	1	56	0.134
羽合町	1,066	590	29	619	58.1	109	0	109	17.6	80	73.4	18	60	0	2	62	0.323
泊	736	123	206	329	44.7	29	113	142	43.2	125	88.0	46	79	0	0	79	0.000
東郷町	1,909	498	3	501	26.2	101	0	101	20.2	84	83.2	35	47	0	2	49	0.399
三朝町	1,876	690	523	690	36.8	109	67	109	15.8	89	81.7	23	64	0	2	66	0.290
関金町	1,081	523	523	523	48.4	67	67	67	12.8	46	68.7	25	20	0	1	21	0.191
北条町	1,941	449	201	650	33.5	54	31	85	13.1	67	78.8	17	46	0	4	50	0.615
大栄町	2,147	948	1,548	948	44.2	148	148	148	15.6	123	83.1	62	61	0	0	61	0.000
東伯町	4,577	1,154	1,154	1,154	25.2	202	202	202	17.5	151	74.8	35	112	1	3	116	0.347
赤碕町	2,785	781	781	781	28.0	140	140	140	17.9	111	79.3	31	79	0	1	80	0.128
西伯町	1,061	297	234	531	50.0	40	56	96	18.1	79	82.3	18	59	0	2	61	0.377
会見町	1,696	300	300	300	17.7	49	49	49	16.3	43	87.8	9	32	0	2	34	0.667
岸本町	3,095	558	558	558	18.0	81	81	81	14.5	61	75.3	17	43	0	1	44	0.179
日吉津村	603	239	142	381	63.2	29	21	50	13.1	43	86.0	9	34	0	0	34	0.000
淀江町	3,617	587	96	683	18.9	68	17	85	12.4	62	72.9	12	48	0	2	50	0.293
大山町	2,468	501	69	570	23.1	55	28	83	14.6	68	81.9	11	55	0	2	57	0.351
名和町	1,548	655	106	761	49.2	86	17	103	13.5	71	68.9	23	47	0	1	48	0.131
中山町	1,575	407	4	411	26.1	53	0	53	12.9	35	66.0	13	22	0	0	22	0.000
日南町	4,130	1,000	1,000	1,000	24.2	117	117	117	11.7	94	80.3	30	64	0	0	64	0.000
日野町	1,909	671	671	671	35.1	87	87	87	13.0	62	71.3	7	52	0	3	55	0.447
江府町	2,482	362	362	362	14.6	49	49	49	13.5	41	83.7	14	27	0	0	27	0.000
溝口町	1,397	599	172	771	55.2	80	12	92	11.9	74	80.4	40	33	0	1	34	0.130
合計	174,021	22,369	17,414	39,783	22.9	2,992	3,472	6,464	16.2	4,894	75.7	1,551	3,253	8	82	3,343	0.226

(3) 平成11年度胃がん検診発見胃がん患者追跡調査結果について

表1 報告胃がん追跡調査

地区 検診別	東 部		中 部		西 部		計
	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	
確定胃がん	9	13	18	1	12	29	82 0.206
癌発見率	22 0.137		19 0.242		41 0.259		
早期がん (%)	7	9	11	1	5	19	52 63.4
進行がん	2	4	7	0	7	10	30
切除例	9	13	15	1	12	27	77
非切除例	0	0	3	0	0	2	5

手術不能... 4、手術拒否... 1
内視鏡手術：東(3)、中(2)、西(3)

表2 性・年齢別

	40-49	50-59	60-69	70-79	80	計
男	2	5	17	31	3	58
女	2	0	8	8	6	24

表3 早期がんの肉眼分類

	東 部		中 部		西 部		計 (%)
	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	車検診	施設 検診	
	0	2	1	0	0	1	4(7.7)
a	4	1	2	0	0	6	13(25.0)
c	2	5	5	1	4	9	26(50.0)
c+	1	1	0	0	0	0	2(3.8)
a+c	0	0	2	0	0	2	4(7.7)
その他	0	0	1	0	1	1	3(5.8)
計	7	9	11	1	5	19	52

表4 進行癌肉眼分類

	東 部		中 部		西 部		計 (%)
	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	
1	0	0	1	0	1	0	2(6.7)
2	0	1	2	0	2	4	9(30.0)
3	1	2	1	0	1	2	7(23.3)
4	1	0	1	0	1	2	5(16.7)
5	0	1	1	0	2	1	5(16.7)
不 明	0	0	1	0	0	1	2(6.7)
計	2	4	7	0	7	10	30

表5 切除例の深達度

	東 部		中 部		西 部		計
	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	車 検 診	施設検診	
t 1	7	9	11	1	5	18	51
	16		12		23		
t 2	0	2	3	0	4	4	13
t 3	2	2	1	0	1	3	9
t 4	0	0	0	0	2	1	3
計	9	13	15	1	12	26	76
不 明	0	0	3	0	0	3	6

表6 切除例の大きさ

mm	~ 10	11~20	小計(%)	21~50	51~	計	不 明
車 検 診	12	5	17(48.6)	11	7	35	4
施設検診	1	10	11(28.9)	19	8	38	5
計	13	15	28(38.4)	30	15	73	9

表7 1 切除例の占拠部位（早期がん）

部 位	車 検 診	施設検診
C	4	3
M	11	12
A	6	12
全 体	0	0
計	21	27
不 明	2	2

部 位	車 検 診	施設検診
小 弯	7	11
大 弯	3	6
前 壁	6	7
後 壁	5	3
全 周	0	0
計	21	27
不 明	2	2

表7 2 切除例の占拠部位（進行がん）

部 位	車 検 診	施設検診
C	3	2
M	6	7
A	4	2
全 体	1	1
計	14	12
不 明	2	2

部 位	車 検 診	施設検診
小 弯	3	5
大 弯	3	1
前 壁	4	1
後 壁	2	2
全 周	2	3
計	14	12
不 明	2	2

表8 前年度受診歴を有する集検発見進行がん

地区	検診	歳	性	型	深達度	組織	大(mm)	占拠部位	
東部	車検診	73	男	3	t(se)	por1	65×72	C	大弯
	車検診	75	男	4	t(se)	tub2		A	全周 吻合術
中部	車検診	67	女	1	t(pm)	tub2	28×32	M	前壁
	車検診	67	女	2	t(pm)	por1	35×40	M	小弯
	車検診	74	男	経過観察					
	車検診	61	男	4	t(se)	por2	50×60	M C	前壁小弯
西部	車検診	75	男	2	t(pm)	tub2	35×40	A	後壁
	車検診	66	男	3	t(pm)	tub2	23×40	M	前壁
	車検診	74	男	5	t(si)	por2	100×100	C M	大弯
	車検診	70	男	4	t(se)	pap	80×100	C M A	前壁大弯
	車検診	83	男	1	t(ss)	pap	19×19	C	前壁
東部	施設検診	73	女	3	t(se)	muc	40×50	C	前壁
	施設検診	70	男	3	t(se)	por1	68×78	A	全周
	施設検診	51	男	5	t(pm)	por1	29×37	M	後壁
西部	施設検診	71	男	4	t(se)	sig	全胃		
	施設検診	70	男	2	t(ss)	por1	60×95	C	小弯前壁

2. 子宮がん検診

1. 子宮がん検診実績

平成11年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は126,103人で、このうち受診者数は25,874人（「頸部のみ」25,417人、「頸部+体部」457人）で受診率は20.5%であった。平成10年度より対象者は1,617人増加したが、受診者数は913人減少し、受診率は1.0ポイント減少した。受診者数、率ともに平成3年度をピークに減少傾向にある。

また、一次検診受診者の経年受診率は86.7%であった。

要精検者数は137人（車検診：34人、施設検診：103人）、要精検率は0.53%で前年度より0.11ポイント増加した。

このうち、精密検査を受診したのは112人、精検受診率は81.8%で前年度より1.3ポイント増加した。

精検結果は、子宮がん19人、異形成40人の合計59人であり、子宮がん発見率は0.23%で、前年度より0.07ポイント増加した。

年代別にみると受診率は50～54歳が高く、要精検率、がん発見率は30歳～39歳が高かった。

2. 子宮体部がん検診

子宮がん検診受診者数25,874人中、体部がん検診対象者数は506人で、一次検診会場での受診者は457人、また一次検診会場で受診できず医療機関で別途検査した者が18人で、受診者の合計は475人で、受診率は93.9%であった。

一次検診の結果、要精検となった者は22人、要精検率4.8%で、精検受診者数21人、精検受診率は95.5%であった。

精検の結果、子宮体部がんは一次検診会場の受診者から1人、医療機関での検査受診者から1人、計2人発見された。子宮内膜増殖症は一次検診会場での受診者からは4人発見された。がん発見率は1.26%であった。

依然として、体部がん検診の受診者が少なく、実施していない市町村もある。

3. 子宮がん検診発見子宮がん追跡調査結果

平成11年度に発見された子宮頸部癌19例、異形成40例について追跡調査を行った。そのうち0期が9例、a期が4例、b期以上が6例であった。

平成10年度より17例も多く発見され、特にb期以上6例のうち5例は初回受診者であった。

また、子宮体部癌が2例、子宮内膜増殖症が4例であった。

(1) 子宮頸部がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平 成 6 年 度	平 成 7 年 度	平 成 8 年 度	平 成 9 年 度	平 成 10 年 度	平 成 11 年 度
一次検診	対 象 者 数(人)	134,657	128,319	132,865	127,386	124,486	126,103
	受 診 者 数(人)	32,793	31,178	29,486	28,953	26,787	25,874
	受 診 率 (%)	24.4	24.3	22.2	22.7	21.5	20.5
一次検診結果	異 常 認 め ず(人)	32,554	30,998	29,323	28,832	26,674	25,737
	要 精 検 者 数(人)	239	180	163	121	113	137
	要精検者の割合 (%)	0.73	0.58	0.55	0.42	0.42	0.53
精密検査	受 診 者 数(人)	212	160	145	103	91	112
	受 診 率 (%)	88.7	88.9	89.0	85.1	80.5	81.8
精密検査結果	子宮がん又は異形成の者(人)	84	51	56	47	42	59
	子宮がん発見率 (%)	0.26	0.16	0.19	0.16	0.16	0.23

(2) 平成11年度子宮頸部がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率 (%)
		要精検者数	異常認めず	
30 ~ 34	1,102	18	1,084	1.63
35 ~ 39	1,777	17	1,760	0.96
40 ~ 44	2,377	17	2,360	0.72
45 ~ 49	2,623	16	2,607	0.61
50 ~ 54	3,196	19	3,177	0.59
55 ~ 59	3,143	15	3,128	0.48
60 ~ 64	3,918	10	3,908	0.26
65 ~ 69	4,045	11	4,034	0.27
70歳以上	3,693	14	3,679	0.38
計	25,874	137	25,737	0.53

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査 受診者数 (人)	精密検査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん 発見率(%)
			異常認めず	その他疾病	異 形 成	子宮がん	
30 ~ 34	15	83.3	2	1	9	3	1.09
35 ~ 39	12	70.6	4	1	6	1	0.39
40 ~ 44	12	70.6	5	4	2	1	0.13
45 ~ 49	15	93.8	6	3	5	1	0.23
50 ~ 54	17	89.5	7	3	7	0	0.22
55 ~ 59	12	80.0	4	2	2	4	0.19
60 ~ 64	9	90.0	1	1	4	3	0.18
65 ~ 69	9	81.8	2	3	2	2	0.10
70歳以上	11	78.6	1	3	3	4	0.19
計	112	81.8	32	21	40	19	0.23

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
保健事業団	12,685	34	12,651	0.27
病 院	4,514	27	4,487	0.60
診 療 所	8,675	76	8,599	0.88
計	25,874	137	25,737	0.53

b. 精密検査結果

一次検診 機 関	精密検査 受診者数 (人)	精密検査 受診率(%)	精 密 検 査 結 果				子宮がん 発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	異 形 成	子宮がん	
保健事業団	27	79.4	7	0	14	6	0.16
病 院	20	74.1	2	7	8	3	0.24
診 療 所	65	85.5	23	14	18	10	0.32
計	112	81.8	32	21	40	19	0.23

4) 平成11年度子宮体部がん検診結果

a. 一次検診結果

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)	一 次 検 診 結 果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
30 ~ 34	19	1	18	5.26
35 ~ 39	36	1	35	2.78
40 ~ 44	66	0	66	0.00
45 ~ 49	115	6	109	5.22
50 ~ 54	119	7	112	5.88
55 ~ 59	52	3	49	5.77
60 ~ 64	25	1	24	4.00
65 ~ 69	16	3	13	18.75
70歳以上	9	0	9	0.00
計	457	22	435	4.81

b. 精密検査結果

年 齢	精密検査 受診者数 (人)	精 密 検 査 結 果				子宮がん 発見率(%)
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮がん	
30 ~ 34	1	0	1	0	0	0.00
35 ~ 39	2	0	1	0	0	0.00
40 ~ 44	0	0	0	0	0	0.00
45 ~ 49	6	5	1	1	0	0.87
50 ~ 54	5	1	2	2	0	1.68
55 ~ 59	3	2	0	0	1	1.92
60 ~ 64	1	0	0	1	0	4.00
65 ~ 69	3	2	1	0	0	0.00
70歳以上	0	0	0	0	0	0.00
計	21	10	6	4	1	1.09

c . 一次検診会場で子宮体部がん検診を受診できなかった者の結果

年 齢	体部がん検査 受診者数(人)	検 査 結 果			
		異常認めず	その他の疾病	子宮内膜増殖症	子宮体部がん
30 ~ 34	0	0	0	0	0
35 ~ 39	1	1	0	0	0
40 ~ 44	2	1	1	0	0
45 ~ 49	4	4	0	0	0
50 ~ 54	3	3	0	0	0
55 ~ 59	2	1	1	0	0
60 ~ 64	2	1	1	0	0
65 ~ 69	0	0	0	0	0
70 歳 以上	4	3	0	0	1
計	18	14	3	0	1

5)平成11年度子宮頸部がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果				がん発見率 (%) Q=(N+O)/D						
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J		K=J/H	L	M	N	O	P
鳥取市	29,700	760	2,538	3,298	11.1	1	17	18	0.5	15	83.3	3	2	8	2	12	0.303
米子市	28,930	2	5,276	5,278	18.2	0	42	42	0.8	40	95.2	13	7	9	11	27	0.379
倉吉市	7,343	315	852	1,167	15.9	2	10	12	1.0	9	75.0	4	0	5	0	5	0.428
境港市	8,248		946	946	11.5			2	0.2	2	100.0	0	0	2	0	2	0.211
国府町	905	487	41	528	58.3	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
岩美町	2,423	737	737	737	30.4	1	1	2	0.1	1	100.0	0	0	0	1	1	0.136
福部村	868	106	125	231	26.6	0	2	2	0.9	2	100.0	0	0	1	0	1	0.433
郡家町	1,286	651	77	728	56.6	2	0	2	0.3	2	100.0	0	0	2	0	2	0.275
船岡町	884	379	12	391	44.2	4	0	4	1.0	3	75.0	1	0	0	2	2	0.512
河原町	2,468	308	187	495	20.1	1	0	1	0.2	1	100.0	0	0	0	1	1	0.202
八東町	1,345	390		390	29.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
若桜町	1,380	436		436	31.6	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
用瀬町	940	127	143	270	28.7	0	1	1	0.4	1	100.0	0	0	1	0	1	0.370
佐治村	738	233	43	276	37.4	1	0	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
智頭町	3,748	677	49	726	19.4	2	5	7	1.0	2	28.6	1	0	1	0	1	0.138
気高町	1,483	97	365	462	31.2	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
鹿野町	1,050	142	109	251	23.9	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
曹谷町	2,092	269	13	282	13.9	2	1	3	1.1	3	100.0	1	1	0	1	2	0.355
羽合村	846	145	311	456	53.9	0	6	6	1.3	2	33.3	2	0	0	0	0	0.000
泊	506	104	97	201	39.7	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
東郷町	1,364	186	128	314	23.0	0	5	5	1.6	5	100.0	0	4	1	0	5	0.318
三朝町	1,484	465		465	31.3	1	1	2	0.2	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
関金町	801	341		341	42.6	2	2	2	0.6	1	50.0	1	0	0	0	0	0.000
北条町	1,604	324	92	416	25.9	0	1	1	0.2	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
大栄町	1,584	965		965	60.9	2	2	2	0.2	2	100.0	1	0	1	0	1	0.104
東伯町	3,239	740		740	22.8	2	2	2	0.3	2	100.0	1	0	1	0	1	0.135
赤碕町	1,918	496		496	25.9	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
西伯町	618		231	231	37.4	0	1	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
会見町	1,023	200	10	210	20.5	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
岸本町	2,370	411	104	515	21.7	3	1	4	0.8	4	100.0	0	0	4	0	4	0.777
日吉津村	518	27	303	330	63.7	0	1	1	0.3	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
淀江町	2,541	68	516	584	23.0	0	3	3	0.5	2	66.7	0	2	0	0	2	0.000
大山町	1,699	362		362	21.3	1	1	1	0.3	1	100.0	0	0	0	1	1	0.276
名和町	1,102	110	376	486	44.1	0	2	2	0.4	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
中山町	880	29	112	141	16.0	0	2	2	1.4	2	100.0	0	2	0	0	2	0.000
日南町	2,378	634		634	26.7	5	5	5	0.8	3	60.0	1	0	2	0	2	0.315
日野町	1,310	449		449	34.3	2	2	2	0.4	2	100.0	0	0	2	0	2	0.445
江府町	1,587	208	61	269	17.0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
溝口町	900	305	72	377	41.9	0	1	1	0.3	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
合計	126,103	12,685	13,189	25,874	20.5	34	103	137	0.5	112	81.8	32	21	40	19	80	0.228

(3) 平成11年度子宮がん検診発見子宮がん患者追跡調査について

表1 子宮がん検診追跡調査結果（頸部）

最終診断	車検診		施設検診	
	平成10年度	平成11年度	平成10年度	平成11年度
異形成	8	14	24	26
頸癌 0期	0	3	5	6
頸癌 a期	2	2	0	2
頸癌 b期以上	2	1	1	5
合計	12	20	30	39

表2 子宮がん検診追跡調査結果（体部）

最終診断	平成10年度	平成11年度
増殖症	4	4
体癌 a、b期	0	2
体癌 c期以上	1	0
合計	5	6

表3 発見子宮がん症例のがん検診受診歴

受診歴	車検診	施設検診	計
前年受診	0	1	1
2年間隔	0	0	0
3年以上の間隔	0	0	0
初回受診	1	4	5

表4 治療機関

	0期	a期	b期以上	体癌
鳥取大学	3	1	5	2
県立中央	0	1	0	0
鳥取日赤	0	1	0	0
鳥取市立	3	0	1	0
国立米子	2	0	0	0
その他	1	1	0	0

3 . 肺 が ん 検 診

1 . 肺がん検診実績

平成11年度の対象者数40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数)は177,815人で、このうち受診者数は64,845人(車検診:55,226人、施設検診:9,619人)で、受診率は36.5%であった。平成10年度より受診者数は305人増加したが、対象者数が5,148人増加したため、受診率は0.9ポイント減少した。

要精検者数は169人で、要精検率は0.26%で、過去10年間で一番高かった。検診機関別にみると、施設検診での要精検率が男女とも高かった。

精検結果は肺がん48人、肺がん疑い10人の合計58人で発見率は0.09%で、前年度より0.02ポイント増加した。

また、受診者総数のうち経年受診者は53,277人で全体の82.2%を占め、これは、平成8年度より開始した医療機関検診が定着し経年受診者が年々増加していると思われる。この経年受診者からはがんが43人発見されており、発見率は0.081%、非経年受診者からの発見がんは15人、発見率0.130%で、非経年受診者の発見率が高かった。

X線検査受診者64,845人中、喀痰検査の対象者となる高危険群所属者は8,559人で、そのうち喀痰検査を受診した者は3,402人で半数に満たなかった。高危険群所属者8,559人のうち、がん・がん疑いの者が23人発見され、がん発見率は0.269%であった。

非高危険群所属者のうち、がん・がん疑いの者が35人発見され、がん発見率は0.062%で、高危険群所属者のがん発見率の方が約4.3倍高かった。

2 . 肺がん検診発見肺がん追跡調査結果

昭和62年度から平成11年度までに発見された肺がんまたは肺がん疑いについて予後調査を行った。結果、肺がん確定診断が485例で、内訳は原発性肺癌は424例、転移性肺癌が61例であった。

平成11年度は確定肺がんは48例で、原発性肺癌が41例、転移性肺癌が7例で、発見率10万対64であった。

原発性肺癌の診断方法は胸部X線間接39例(95.1%)、X線間接E+細胞診E判定からは2例(4.9%)であった。細胞診検査のみからはがんは発見されなかった。全体としては臨床病期は、組織型は腺癌が大半を占めている。また根治度は、絶対的治癒手術と相対的治癒手術で78.3%を占めていた。平成11年度の腫瘍径は平成10年度の平均37.1mmに比べ27.9mmで、小さいものが多く発見されている。

全手術例の5年生存率は58.9%、10年生存率は39.1%であった。性別でみると女性の方が予後がよく、組織型では腺癌、Stage IAの予後がよかった。

(1) 肺がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
一次検診	対象者数(人)	182,080	183,971	183,887	179,302	172,667	177,815
	受診者数(人)	66,316	65,226	64,169	67,092	64,540	64,845
	受診率(%)	36.4	35.5	34.9	37.4	37.4	36.5
一次検診結果	異常認めず(人)	66,213	65,064	64,055	66,940	64,403	64,676
	要精検者数(人)	103	162	114	152	137	169
	要精検者の割合(%)	0.16	0.25	0.18	0.23	0.21	0.26
精密検査	受診者数(人)	89	135	91	123	111	142
	受診率(%)	86.4	83.3	79.8	80.9	81.0	84.0
精密検査結果	肺がん又はがんの疑いのある者(人)	31	47	50	70	48	58
	肺がん発見率(%)	0.05	0.07	0.08	0.10	0.07	0.09

(2) 平成11年度肺がん検診結果

1) 1次検診結果(年齢階級別)

a. X線検査結果

年 齢	胸 部 X 線 検 査					
	X線検査受診者数 A		経年受診者数再掲 B		経年受診者数割合 (%) C = B / A	
	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	947	2,023	643	1,381	67.9	68.3
45 ~ 49	1,236	2,409	941	1,865	76.1	77.4
50 ~ 54	1,407	3,260	1,087	2,484	77.3	76.2
55 ~ 59	1,466	4,104	1,141	3,260	77.8	79.4
60 ~ 64	3,004	6,199	2,318	5,053	77.2	81.5
65 ~ 69	4,649	7,812	3,825	6,629	82.3	84.9
70 ~ 74	4,851	7,385	4,154	6,314	85.6	85.5
75 ~ 79	3,090	5,141	2,700	4,408	87.4	85.7
80歳以上	2,164	3,698	1,884	3,190	87.1	86.3
計	22,814	42,031	18,693	34,584	81.9	82.3
合 計	64,845		53,277		82.2	

年 齢	X 線 フ ィ ル ム 読 影 結 果							
	異常認めず D		要精検者数 E		要精検率 (%)		X線検査受診者中 高危険群所属者数 F	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	944	2,022	3	1	0.32	0.05	13	6
45 ~ 49	1,232	2,408	4	1	0.32	0.04	33	8
50 ~ 54	1,406	3,257	1	3	0.07	0.09	646	39
55 ~ 59	1,466	4,099	0	5	0.00	0.12	643	54
60 ~ 64	2,995	6,187	9	12	0.30	0.19	1,231	65
65 ~ 69	4,633	7,801	16	11	0.34	0.14	1,923	53
70 ~ 74	4,831	7,367	20	18	0.41	0.24	2,003	51
75 ~ 79	3,064	5,121	26	20	0.84	0.39	1,145	25
80歳以上	2,156	3,688	8	10	0.37	0.27	601	20
計	22,727	41,950	87	81	0.38	0.19	8,238	321
合 計	64,677		168		0.26		8,559	

b . 喀痰細胞診検査

年 齢	喀痰細胞診 受診者数 (人) G		喀 痰 細 胞 診 結 果					
			精検不要 H		要精検者数 I		要精検率 (%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	127	28	127	28	0	0	0.00	0.00
45 ~ 49	230	38	230	38	0	0	0.00	0.00
50 ~ 54	304	68	304	68	0	0	0.00	0.00
55 ~ 59	326	121	326	121	0	0	0.00	0.00
60 ~ 64	685	198	685	198	0	0	0.00	0.00
65 ~ 69	989	168	989	168	0	0	0.00	0.00
70 ~ 74	1,081	158	1,080	158	1	0	0.09	0.00
75 ~ 79	609	72	607	72	2	0	0.33	0.00
80歳以上	219	29	219	29	0	0	0.00	0.00
計	4,570	880	4,567	880	3	0	0.07	0.00
合 計	5,450		5,447		3		0.06	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	要精検者数		精密検査受診者数		精密検査受診率 (%)	
	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	3	1	1	1	33.3	100.0
45 ~ 49	4	1	2	1	50.0	100.0
50 ~ 54	1	3	0	1	0.0	33.3
55 ~ 59	0	5	0	5	0.0	100.0
60 ~ 64	9	12	9	10	100.0	83.3
65 ~ 69	16	11	14	10	87.5	90.9
70 ~ 74	20(1)	18	16(1)	17	80.0	94.4
75 ~ 79	27(1)	20	25(1)	16	92.6	80.0
80歳以上	8	10	6	8	75.0	80.0
計	88(2)	81	73(2)	69	83.0	85.2
合 計	169(2)		142(2)		84.0	

年 齢	精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	1	1	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000
45 ~ 49	2	0	0	1	0	0	0	0	0.000	0.000
50 ~ 54	0	0	0	0	0	0	0	1	0.000	0.031
55 ~ 59	0	1	0	1	0	0	0	3	0.000	0.073
60 ~ 64	2	9	3	1	1	0	3	0	0.133	0.000
65 ~ 69	5	5	4	2	0	1	5	2	0.108	0.038
70 ~ 74	1	7	5	3	0	2	10(1)	5	0.206	0.095
75 ~ 79	10	7	3	2	3	2	9(1)	5	0.388	0.136
80歳以上	1	4	3	0	0	1	2	3	0.092	0.108
計	22	34	18	10	4	6	29(2)	19	0.145	0.059
合 計	56		28		10		48(2)		0.089	

()はX線検査と喀痰細胞診検査が両者とも要精検

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率 (%)	
			異常認めず		要精検者数			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	19,430	35,796	19,375	35,742	55	54	0.28	0.15
病 院	1,487	2,750	1,467	2,734	20	16	1.34	0.58
診 療 所	1,897	3,485	1,884	3,474	13	11	0.69	0.32
計	22,814	42,031	22,726	41,950	88	81	0.39	0.19
合 計	64,845		64,676		169		0.26	

b. 精密検査結果

一次検診機関	要精検者数 (人)		精密検査受診者数		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女	男	女
保健事業団	55	54	48	48	87.3	88.9
病 院	20	16	14	12	70.0	75.0
診 療 所	13	11	11	9	84.6	81.8
計	88	81	73	69	83.0	85.2
合 計	169		142		84.0	

一次検診機関	精 密 検 査 結 果								肺がん発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		肺がん疑い		肺がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	8	19	13	6	4	5	23	18	0.14	0.06
病 院	9	9	2	3	0	0	3	0	0.20	0.00
診 療 所	5	6	3	1	0	1	3	1	0.16	0.06
計	22	34	18	10	4	6	29	19	0.15	0.06
合 計	56		28		10		48		0.09	

4)平成11年度肺がん検診受診状況

市町村名	対象者数		受診者数		要精密検査者		検査結果			人員							
	A	B	C	D=B+C	E=D/A	F	G	H=F+G	I=H/D	J	K=J/H	L	M	N	O	P	Q=(N+O)/D
鳥取市	37,800	624	7,163	7,787	20.6	0	37	37	0.48	31	83.8	18	7	1	5	13	0.077
米子市	39,095	4,703		4,703	12.0	7		7	0.15	7	100.0	1	1	1	4	6	0.106
倉吉市	11,857	1,994	536	2,530	21.3	2	1	3	0.12	3	100.0	0	0	2	3	0.079	
境港市	11,358	963		963	8.5	3		3	0.31	3	100.0	0	2	0	1	3	0.104
国府町	1,869	1,269		1,269	67.9	3		3	0.24	3	100.0	1	1	0	1	2	0.079
岩美町	3,227	968		968	30.0	6		6	0.62	4	66.7	3	0	0	1	1	0.103
福部村	1,024	430		430	42.0	0		0	0.00	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
柳家町	2,432	1,630		1,630	70.9	3	0	3	0.17	3	100.0	2	0	0	1	1	0.058
船岡町	1,554	1,109		1,109	73.7	2	0	2	0.17	2	100.0	1	0	0	1	1	0.087
河原町	2,649	1,005		1,261	47.6	4	1	5	0.40	2	40.0	0	1	0	1	2	0.079
八東町	2,123	1,297		1,297	61.1	0		0	0.00	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
若桜町	1,405	732	138	870	61.9	1	1	2	0.23	2	100.0	0	1	0	1	2	0.115
用瀬町	876	846	30	876	100.0	1	0	1	0.11	1	100.0	0	1	0	0	1	0.000
佐治村	1,175	573	171	744	63.3	1	1	2	0.27	1	50.0	0	0	0	1	1	0.134
智頭町	3,724	1,631	88	1,719	46.2	3	5	8	0.47	4	50.0	2	2	0	0	2	0.000
気高町	2,180	1,119	453	1,572	72.1	2	10	12	0.76	9	75.0	8	1	0	0	1	0.000
鹿野町	1,644	956	159	1,115	67.8	4	4	8	0.72	7	87.5	4	1	0	2	3	0.179
曹谷町	3,319	1,575		1,575	47.5	2		2	0.13	1	50.0	0	1	0	0	1	0.000
羽合町	1,585	1,191	28	1,219	76.9	3	0	3	0.25	3	100.0	0	0	0	3	3	0.246
泊	989	516	219	735	74.3	0	0	0	0.00	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
東郷町	2,371	1,764	3	1,767	74.5	2	0	2	0.11	1	50.0	0	0	0	1	1	0.057
三朝町	2,333	1,931		1,931	82.8	2		2	0.10	2	100.0	2	0	0	0	0	0.000
関金町	1,400	1,176		1,176	84.0	3		3	0.26	3	100.0	1	0	0	2	2	0.170
北条町	2,071	1,400	196	1,596	77.1	4	0	4	0.25	4	100.0	4	0	0	0	0	0.000
大栄町	2,607	2,448		2,448	93.9	5		5	0.20	5	100.0	4	0	0	1	5	0.082
東伯町	4,421	3,422		3,422	77.4	4		4	0.12	4	100.0	0	3	1	3	4	0.088
赤碕町	3,141	2,223		2,223	70.8	3		3	0.13	3	100.0	0	0	0	3	3	0.135
西伯町	2,529	1,246		1,246	49.3	7		7	0.56	4	57.1	1	1	1	1	3	0.161
会見町	1,087	743		743	68.4	5		5	0.67	4	80.0	3	0	0	1	1	0.135
岸本町	3,095	1,531		1,531	49.5	9		9	0.59	9	100.0	2	1	1	5	7	0.392
日吉津村	583	424		424	72.7	0		0	0.00	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
淀江町	2,957	2,097		2,227	75.3	5		5	0.22	5	100.0	0	0	2	3	5	0.225
大山町	2,857	2,097	48	2,145	75.1	2	0	2	0.09	2	100.0	0	0	1	1	2	0.093
名和町	2,329	1,701		1,701	73.0	2		2	0.12	2	100.0	0	0	1	1	2	0.118
中山町	3,375	1,469		1,469	43.5	3		3	0.20	3	100.0	0	1	1	1	3	0.136
日南町	3,642	1,673		1,673	45.9	2		2	0.12	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
日野町	1,740	809		809	46.5	1		1	0.12	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
江府町	1,650	896		896	54.3	1		1	0.11	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
溝口町	1,742	915		915	52.5	2		2	0.22	1	50.0	0	0	0	1	1	0.109
合計	177,815	55,226	9,619	64,845	36.5	109	60	169	0.26	142	84.0	56	28	10	48	86	0.089

(3) 平成11年度肺がん検診発見肺がん患者の予後調査結果

肺がん確定診断（原発性424、転移性61）	485例
他部位癌（鼻腔1、咽頭2、喉頭3、その他4）	10例
他の良性疾患	17例
総計	512例

1) 肺がん確定診断

(単位：例)

	62年	63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年
原発性肺癌	6	22	18	32	36	37	41
転移性肺癌	0	4	4	4	7	9	3
合計	6	26	22	36	43	46	44

	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	計
原発性肺癌	22	38	38	53	40	41	424
転移性肺癌	5	5	4	2	7	7	61
合計	27	43	42	55	47	48	485

2) 原発性肺がん診断方法

〔H11年度集計〕

胸 X 間接	Dのみ	149例	340例 (80.2%)	Dのみ	21例	39例 (95.1%)
	Eのみ	191例		Eのみ	18例	
細胞診	Dのみ	18例	49例 (11.6%)	Dのみ	0例	0例 (0.0%)
	Eのみ	31例		Eのみ	0例	
胸X線間接と細胞診	D + D	8例	33例 (7.7%)	D + D	0例	2例 (4.9%)
	D + E	8例		D + E	0例	
	E + D	4例		E + D	0例	
	E + E	13例		E + E	2例	
	不明	2例	2例 (0.5%)	不明	0例	0例 (0.0%)
計			424例 (100.0%)		41例	

3) 精密検診受診・原発性肺癌発見の状況

年	受診者 (人)	要精検者 (人)	精検受診者 (人)	肺癌発見者 (人)	発見率(%) (対人口10万)
S . 62	16 420	745 (4.54%)	652 (87.5%)	6	37
S . 63	38 445	65 (0.17%)	60 (92.3%)	22	57
H . 1	52 473	117 (0.22%)	107 (91.5%)	18	34
H . 2	68 374	153 (0.22%)	132 (86.3%)	32	49
H . 3	70 ,189	95 (0.14%)	89 (93.7%)	36	51
H . 4	69 909	133 (0.19%)	111 (83.5%)	37	53
H . 5	69 027	133 (0.19%)	98 (73.7%)	41	59
H . 6	66 316	103 (0.16%)	89 (86.4%)	22	33
H . 7	65 226	162 (0.25%)	135 (83.3%)	38	58
H . 8	64 ,169	113 (0.18%)	91 (80.5%)	38	59
H . 9	67 092	152 (0.23%)	123 (80.9%)	53	79
H . 10	64 540	136 (0.21%)	109 (80.1%)	40	62
H . 11	64 845	169 (0.26%)	142 (84.0%)	41	64
計	777 025	2 276 (0.29%)	1 938 (85.1%)	424	55

4) 原発性肺癌(424例)

a. 年齢・性別

区分	原発性肺癌	比率(%)
50~59歳	36例	8.5
60~69歳	160	37.7
70~79歳	171	40.3
80~	57	13.5
計	424	100.0

平均年齢 = 70.5

男 : 女 = 278例 : 146例

[H11年度集計]

区分	原発性肺癌	比率(%)
50~59歳	3例	7.3
60~69歳	8	19.5
70~79歳	25	61.0
80~	5	12.2
計	41	100.0

平均年齢 = 71.9

男 : 女 = 25例 : 16例

b . 原発性肺癌の臨床病期と組織型

組織型 \ 病期	Occult			A	B		不明	計(%)
扁平上皮癌	2	80	11	37	8	13	6	157(37.0)
腺癌	0	114	13	26	12	31	2	198(46.7)
大細胞癌	0	3	0	2	0	0	0	5(1.2)
小細胞癌	0	5	6	8	3	4	2	28(6.6)
腺扁平上皮癌	0	2	0	2	0	0	0	4(1.0)
腺様嚢胞癌	0	0	0	1	0	0	0	1(0.2)
不明	0	10	2	1	3	5	10	31(7.3)
計	2 (0.5)	214 (50.5)	32 (7.5)	77 (18.2)	26 (6.1)	53 (12.5)	20 (4.7)	424(100.0) (100.0)

[H11年度集計]

臨床病期	(%)
Occult	0例
	27 (65.9)
	3
A	7
B	2
	2
不明	0
計	41

組織型	(%)
扁平上皮癌	8例
腺癌	29 (70.7)
大細胞癌	0
小細胞癌	1
腺扁平上皮癌	1
腺様嚢胞癌	0
不明	2
計	41

c . 原発性肺癌の手術症例 (235例) 手術率 : 55.4%

(a) 臨床病期、術後病期

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	2例	Occult	2例
	165例 (70.2)		151例 (64.3)
	16		17
A	43	A	45
B	6	B	10
	3		10
計	235	計	235

〔 H11年度集計 〕

原発性肺癌の手術症例 (27例) 手術率 : 65.9%

臨床病期 (%)		術後病期 (%)	
Occult	0例	Occult	0例
	20例 (74.1)		19例 (70.4)
	2		0
A	4	A	6
B	0	B	1
	1		1
計	27	計	27

(b) 組織型分類

組織型分類	
扁平上皮癌	82例
腺癌	136
大細胞癌	5
小細胞癌	5
腺扁平上皮癌	5
腺様嚢胞癌	1
不明	1
計	235

(c) 根治度

根治度分類	(%)	
絶対的治癒手術	132例 (56.2)	} 184 (78.3%)
相対的治癒手術	52	
相対的非治癒手術	25	
絶対的非治癒手術	22	
不明	4	
計	235	

〔 H11年度集計 〕

組織型分類	
扁平上皮癌	5例
腺癌	21
大細胞癌	0
小細胞癌	0
腺扁平上皮癌	1
計	27

根治度分類	(%)	
絶対的治癒手術	13例 (62.5)	} 19 (70.4%)
相対的治癒手術	6	
相対的非治癒手術	7	
絶対的非治癒手術	1	
計	27	

d . 新病期分類の手術症例

(a) 臨床病期

(全症例 : 424例、H11年度 : 41例)

	全症例(%)	H11年度(%)
Occult	2例	0例
A	141例(33.3)	13例(31.7)
B	70	11
A	14	5
B	33	2
A	65	6
B	26	2
	53	2
不明	20	0
計	424	41

(b) 術後病理病期

(全手術症例 : 235例、H11年度 : 27例)

	全手術症例(%)	H11年度(%)
Occult	2例	0例
A	105例(44.7)	16例(59.3)
B	46	3
A	8	0
B	17	3
A	37	3
B	10	1
	10	1
計	235	27

e . 腫瘍径

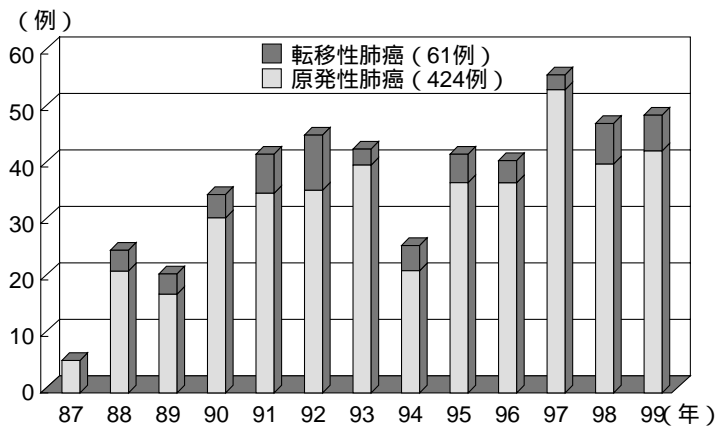
腫瘍径(mm)	H10年度(%)	H11年度(%)
0 ~ 10	1例	2例
11 ~ 20	9 (22.5)	10
21 ~ 30	6	15(36.6)
31 ~ 40	6	9
41 ~ 50	7	1
51 ~	7	2
不明	4	2
計	40	41
平均	37.1mm	27.9mm

5) 転移性肺癌 (61例)

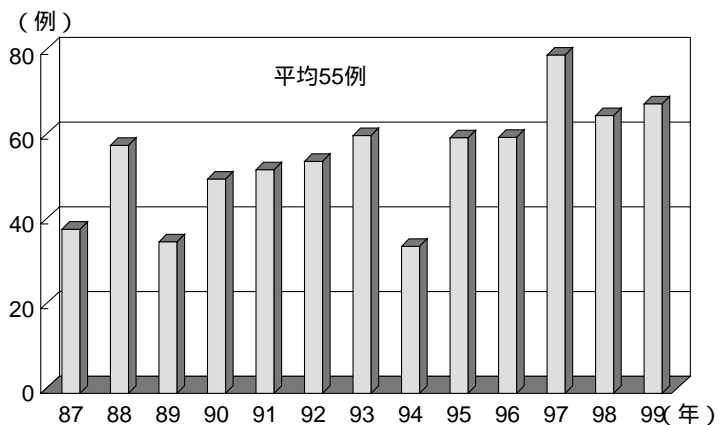
大腸癌 : 18例、乳癌 : 6例、腎臓癌 : 6例、甲状腺癌 : 6例、胆のう癌 : 3例、
 卵巣癌 : 2例、胃癌 : 2例、肝臓癌 : 2例、前立腺癌 : 3例、咽頭癌 : 1例、
 肛門癌 : 1例、食道癌 : 1例、子宮癌 : 1例、尿管癌 : 1例、顎下腺 : 1例、
 子宮肉腫 : 1例、肺癌 : 2例、胸腺癌 : 1例、膵臓癌 : 1例、膀胱癌 : 1例、
 不明 : 1例

6) 検診発見肺癌の推移

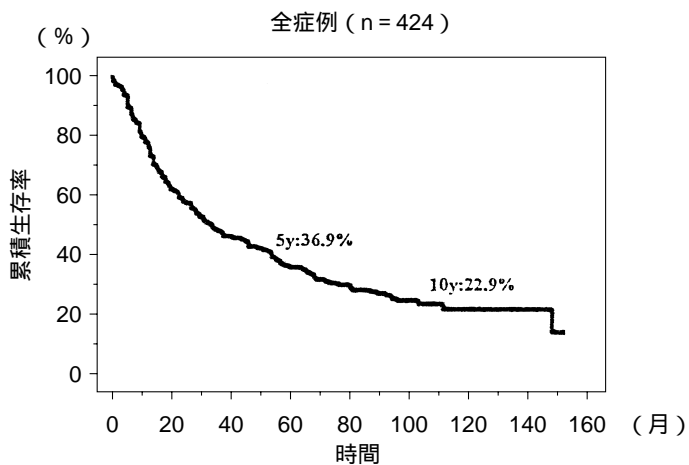
(1987 - 1999年 : 485例)



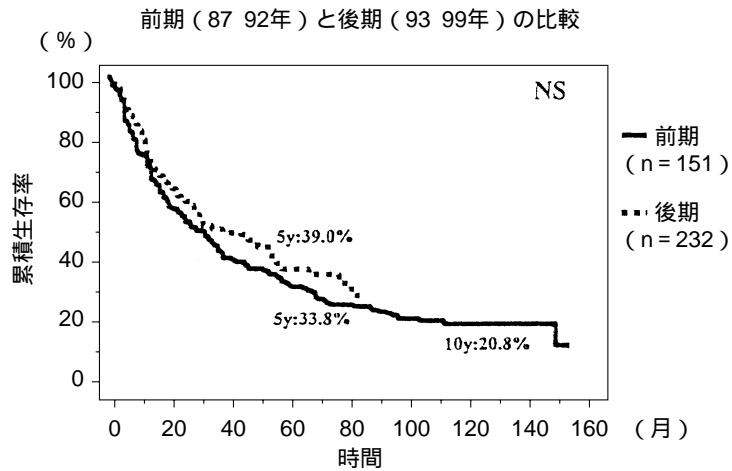
7) 原発性肺癌の発見率 (対人口10万)



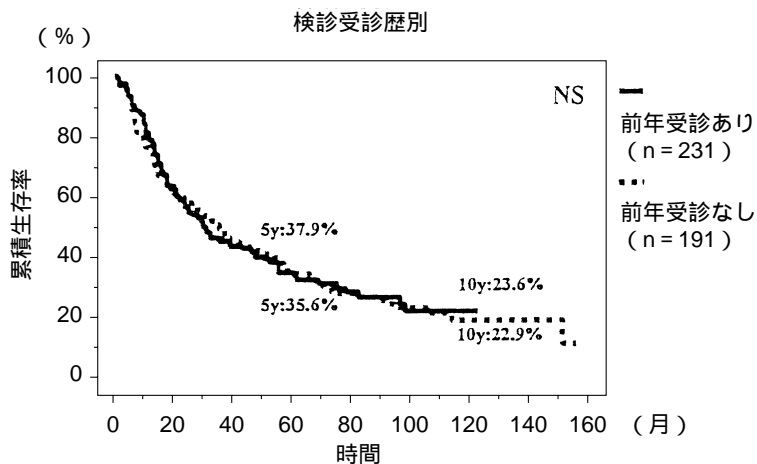
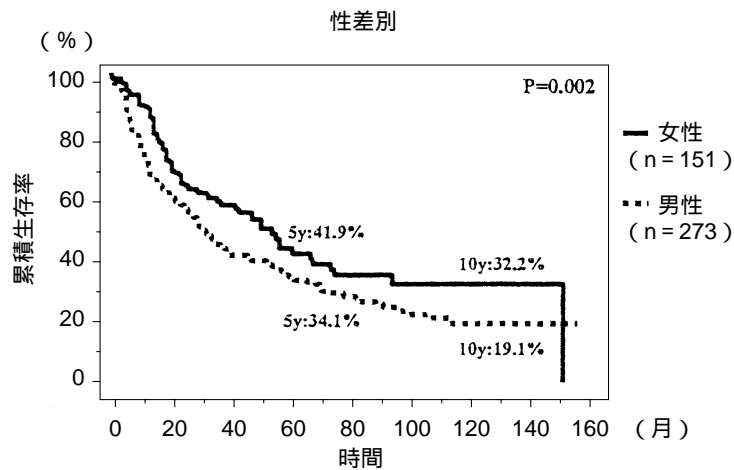
8) 検診発見肺癌の予後

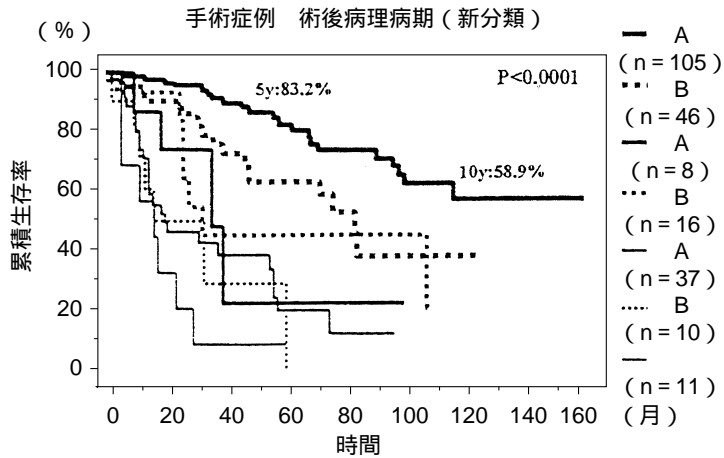
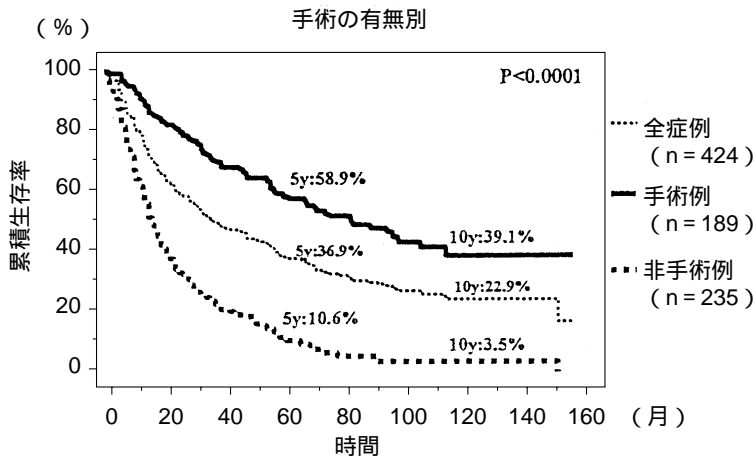
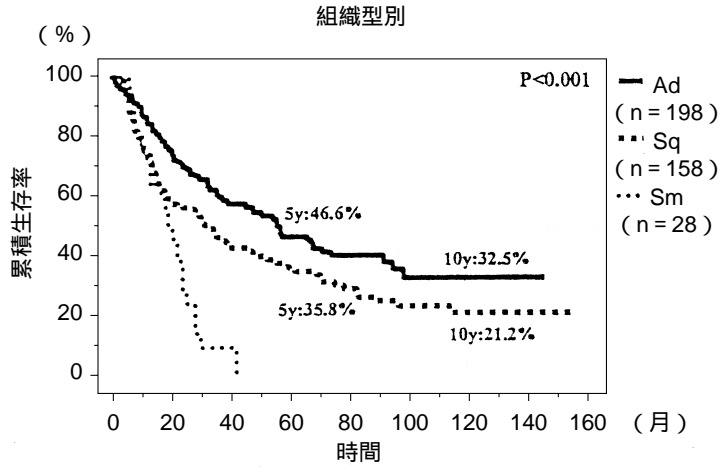


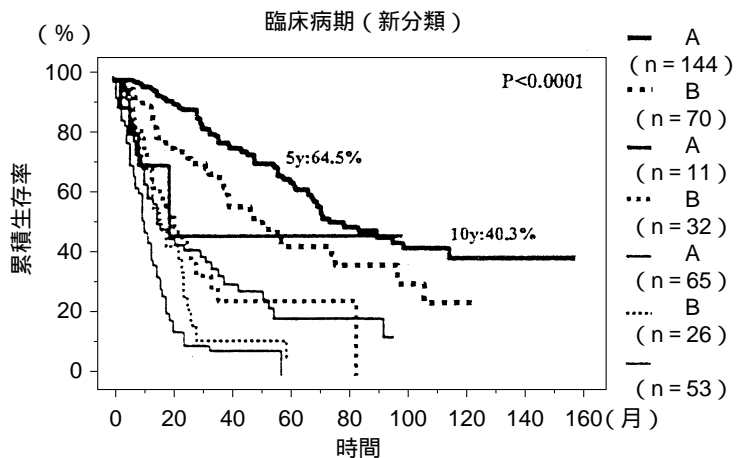
9) 検診発見肺癌の予後



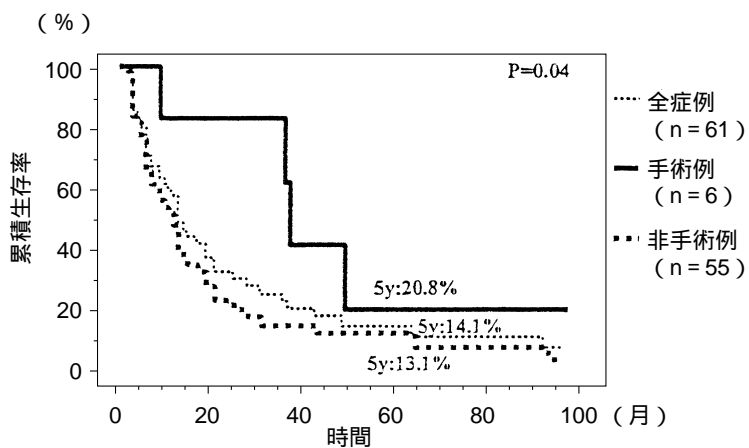
10) 検診発見肺癌の予後







11) 検診発見転移性肺腫瘍の予後



4 . 乳 が ん 検 診

1 . 乳がん検診実績

平成11年度の対象者数（30歳以上の女性のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は128,948人で、このうち受診者数は29,231人（出張検診：13,763人、施設検診：15,468人）で受診率は22.7%であった。

がん検診の全国的な傾向であるが、平成5年度のピークより受診者数約6,300人、受診率約2.5ポイントの減少である。

要精検者数は653人（出張検診：102人、施設検診：551人）、要精検率は2.23%で前年度より0.20ポイント増加した。

このうち、精密検査を受診したのは550人、精検受診率は84.2%で、前年度と比べて2.6ポイント増加した。精検結果は乳がんが24人発見され、発見率0.08%であった。市町村別にみると要精検者数はあまり差がないのに、米子市から13例、鳥取市から3例のがんが発見されており、平成10年度と逆転している。

年代別にみると、受診率は60～64歳、要精検率は35～39歳、がん発見率は45～49歳がそれぞれ高かった。

2 . 乳がん検診発見乳がん追跡調査結果

平成11年度に発見された乳がん24例について確定調査を行った結果、確定乳がんは24例（25病変）で、前年度より4例減少した。米子市からがんが13例発見されている。病期分類は、Ⅰ期が16例と比較的早期の症例が67%を占めたが、初回受診者からⅠ期が2例発見された。

また、術式別では乳房温存手術の普及とともにこれの大幅増が予想されたが、40%と前年度の57.1%を下回った。組織型別では浸潤癌が21例であった。

初回発見がんが13例と多く、検診の有効性が認められる結果であった。

(1) 乳がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 6 年 度	平成 7 年 度	平成 8 年 度	平成 9 年 度	平成 10 年 度	平成 11 年 度
一次検診	対 象 者 数(人)	136,882	130,508	135,195	130,112	127,118	128,948
	受 診 者 数(人)	33,785	32,789	32,073	32,131	30,086	29,231
	受 診 率 (%)	24.7	25.1	23.7	24.7	23.7	22.7
一次検診結 果	異 常 認 め ず(人)	32,759	31,776	31,255	31,340	29,476	28,578
	要 精 検 者 数(人)	1,026	1,013	818	791	610	653
	要精検者の割合 (%)	3.04	3.09	2.55	2.46	2.03	2.23
精密検査	受 診 者 数(人)	899	902	723	698	498	550
	受 診 率 (%)	87.6	89.0	88.4	88.2	81.6	84.2
精密検査結 果	乳がん又はがんの疑 いのある者 (人)	33	30	30	16	29	24
	乳 がん 発 見 率 (%)	0.10	0.09	0.09	0.05	0.10	0.08

(2) 平成11年度乳がん検診結果

1) 1次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受 診 者 数(人)	一 次 検 診 結 果		要 精 検 率 (%)
		要 精 検 者 数	異 常 認 め ず	
30 ~ 34	1,059	32	1,027	3.02
35 ~ 39	1,711	71	1,640	4.15
40 ~ 44	2,370	80	2,290	3.38
45 ~ 49	2,749	100	2,649	3.64
50 ~ 54	3,351	86	3,265	2.57
55 ~ 59	3,442	66	3,376	1.92
60 ~ 64	4,428	63	4,365	1.42
65 ~ 69	4,638	74	4,564	1.60
70 歳 以 上	5,483	81	5,402	1.48
計	29,231	653	28,578	2.23

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精密検査結果				乳がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
30 ~ 34	30	93.8	14	15	0	1	0.09
35 ~ 39	60	84.5	16	44	0	0	0.00
40 ~ 44	65	81.3	23	41	0	1	0.04
45 ~ 49	88	88.0	16	66	1	5	0.22
50 ~ 54	70	81.4	9	59	0	2	0.06
55 ~ 59	55	83.3	17	35	0	3	0.09
60 ~ 64	57	90.5	18	38	0	1	0.02
65 ~ 69	60	81.1	27	27	0	6	0.13
70歳以上	65	80.2	23	38	0	4	0.07
計	550	84.2	163	363	1	23	0.08

3) 検診機関別

a. 1次検診結果

一次検診機関	一次検診受診者数(人)	一次検診結果		要精検率(%)
		要精検者数	異常認めず	
医師雇上	3,086	54	3,032	1.75
保健事業団	10,677	48	10,629	0.45
病 院	6,768	349	6,419	5.16
診 療 所	8,700	202	8,498	2.32
計	29,231	653	28,578	2.23

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)	精密検査受診率(%)	精密検査結果				乳がん発見率(%)
			異常認めず	その他の疾病	乳がん疑い	乳がん	
医師雇上	50	92.6	22	26	0	2	0.06
保健事業団	40	83.3	17	22	0	1	0.01
病 院	300	86.0	69	226	0	5	0.07
診 療 所	160	79.2	55	89	1	15	0.18
計	550	84.2	163	363	1	23	0.08

4)平成11年度乳がん検診受診状況

市町村名	受診者数				要精密検査者				検査結果別人員							
	対象者数 A	出張検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	出張検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精密率 (%) I=H/D	精密検査 受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の 疾患 M	がん疑いが N	がん O	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D	
鳥取市	29,700	742	3,608	4,350	14.6	121	153	3.52	109	71.2	55	50	1	3	54	0.092
米子市	28,930		5,234	5,234	18.1	167	167	3.19	152	91.0	14	125	0	13	138	0.248
倉吉市	7,343	302	808	1,110	15.1	3	33	2.97	27	81.8	12	15	0	0	15	0.000
境港市	8,248		1,273	1,273	15.4	19	19	1.49	17	89.5	2	14	0	1	15	0.079
国府町	969	522	45	567	58.5	1	0	0.18	1	100.0	0	0	0	0	1	0.000
岩美町	2,751	794	134	928	28.9	1	1	0.13	1	100.0	0	0	0	1	1	0.126
福部町	897	98	134	232	25.9	2	4	2.59	4	66.7	4	0	0	0	0	0.000
都家町	1,300	717	48	765	58.8	0	2	0.26	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
船岡町	968	488		488	50.4	4	4	0.82	4	100.0	3	1	0	0	1	0.000
河原町	2,535	299	210	509	20.1	0	5	0.98	4	80.0	3	1	0	0	1	0.000
八東町	1,452	460		460	31.7	1	1	0.22	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
若桜町	1,510	506		506	33.5	11	11	2.17	10	90.9	8	2	0	0	2	0.000
用瀬町	932	114	145	259	27.8	1	13	5.41	13	92.9	7	6	0	0	6	0.000
佐治村	826	238	95	333	40.3	2	1	0.90	3	100.0	1	2	0	0	2	0.000
智頭町	3,748	11	736	747	19.9	0	19	2.54	13	68.4	4	9	0	0	9	0.000
気高町	1,483	93	527	620	41.8	0	11	1.77	11	100	8	2	0	1	3	0.161
鹿野町	1,039	132	174	306	29.5	1	6	2.29	5	71.4	5	0	0	0	0	0.000
曹谷町	2,092	309	35	344	16.4	0	0	0.00	0	0.0	0	0	0	0	0	0.000
羽合町	916	187	318	505	55.1	2	13	2.97	14	93.3	4	10	0	0	10	0.000
泊	840	136	99	235	28.0	1	4	2.13	5	100.0	5	0	0	0	0	0.000
東郷町	1,410	241	129	370	26.2	0	5	1.35	5	100.0	3	2	0	0	2	0.000
三朝町	1,524	456		456	29.9	2	2	0.44	2	100.0	0	2	0	0	2	0.000
関金町	863	420		420	48.7	1	1	0.24	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
北条町	1,604	373	108	481	30.0	2	7	1.87	9	100.0	1	8	0	0	8	0.000
大栄町	1,778	1,161		1,161	65.3	4	4	0.34	2	50.0	1	1	0	0	1	0.000
東伯町	3,340	798		798	23.9	8	8	1.00	6	75.0	0	6	0	0	6	0.000
赤碕町	2,031	668		668	32.9	1	1	0.15	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
西伯町	767	387		387	50.5	19	19	4.91	18	94.7	4	14	0	0	14	0.000
会見町	1,023	262	16	278	27.2	2	0	0.72	1	50.0	1	0	0	0	0	0.000
岸本町	2,370	550	106	656	27.7	1	8	1.37	8	88.9	0	8	0	0	8	0.000
日吉津村	564	246	22	268	47.5	8	0	2.99	8	100.0	0	8	0	0	8	0.000
淀江町	2,665	1	519	520	19.5	0	34	6.54	30	88.2	5	25	0	0	25	0.000
大山町	1,688	465	35	500	29.6	4	1	1.00	5	100.0	2	3	0	0	3	0.000
名和町	1,210	142	394	536	44.3	1	25	4.85	22	84.6	3	18	0	1	19	0.187
中山町	1,030	285	20	305	29.6	1	0	0.33	1	100.0	1	0	0	0	0	0.000
日南町	2,603	742		742	28.5	2	2	0.27	1	50.0	0	0	0	1	1	0.135
日野町	1,460	560		560	38.4	2	2	0.36	2	100.0	1	1	0	0	1	0.000
江府町	1,587	245	65	310	19.5	1	8	2.90	7	77.8	0	6	0	1	7	0.323
溝口町	952	178	178	178	18.7	29	29	16.3	25	86.2	2	22	0	1	23	0.562
合計	128,948	13,763	15,468	29,231	22.7	102	551	653	2.23	550	163	363	1	23	387	0.082

(3) 平成11年度乳がん検診発見乳がん患者追跡調査結果

1) 登録届出数 24例 (平成10年度28例)

確定乳癌 24例 25病変

鳥取市 4 米子市 13 境港市 1

岩美町 1 名和町 1 江府町 1

気高町 1 日南町 1 溝口町 1

2) 病期分類

TNM分類	
0	1
	9
	11
a	0
b	1
	1
不明	1
計	24

Tnm分類	
	12
	4
	0
	2
不明	6
計	24

3) 手術術式

乳房切除術	15
1) 拡大乳房切除術	1
2) 胸筋合併乳房切除術	0
3) 胸筋温存乳房切除術	14
乳房温存術	10
1) 乳房扇状部分切除術	2
2) 乳房円状部分切除術	8

(Bt + Ax 7, Bt + Ax + IC 2)
 (Bq + Ax 2)
 (Bp + Ax 2, Bp + Ax + Ic 5)
 Bpのみ 1

コンハント1

4) 組織型

非浸潤癌	乳管癌	2
浸潤癌	21	
a 浸潤性乳管癌	17	b 特殊型 2
a1 乳頭腺管癌	7	b2 髓様癌 1
a2 充実腺管癌	6	b7 アボクリン癌 1
a3 硬癌	4	
不明	2	

5) 検診から精検および手術までの間隔

間隔(日)	検診から精検	精検から手術	検診から手術
~ 7	22	4	1
8 ~ 14		3	5
15 ~ 21		4	5
22 ~ 28		1	1
29 ~ 35		4	3
36 ~ 42		3	3
43 ~ 49		1	1
50 ~ 56		1	1
57 ~	2		1
不 明		3	4

6) 検診歴と病期

		Tnm分類					不明
初回検診	13		7	2		2	2
繰返し検診	11	1年	9	4	2		3
		2年	2	1			1

7) 年齢構成

年 齢	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~
例 数	1		1	6	3	2	1	6	4
(初回)	(1)			(4)	(1)	(2)		(3)	(2)
Tnm				3	3		1	2	3
				1		1		2	
	1					1			
						(1)			
不明			1	2				2	1

集団検診発見 2

施設検診 22

8) まとめ

1. 平成11年度の検診発見乳癌は24例(25病変)、発見率は0.08%であった。
西部地区が18例と高かった。(昨年と逆)
2. 病期分類は病期・が16例と早いものが多かったが、期も2例見られた。
3. 手術術式では、乳房温存術が40%と昨年に比して減少した。
(昨年 57.1% - 昨年 41.7%)
4. 組織型は、例年と差はない。
5. 検診から精検までの期間は、90%(22例)が1週であり、46%(11例)が3週以内に手術を受けていた。
6. 初回検診発見ではStage・が9例、69%で、も2例あった。
7. 初回検診発見例が13例(54.2%)と半数を占めた。(昨年43%)

5. 大腸がん検診

1. 大腸がん検診実績

平成11年度の対象者数（40歳以上の者のうち職場等で受診の機会がない者として各市町村が把握している人数）は181,677人で、このうち受診者数は49,544人（地域検診：25,646人、施設検診：23,898人）で、受診率は27.3%であった。平成10年度より受診者数は242人増加し、受診率は0.3ポイント増加した。受診率は平成4年度事業開始より一番高かったが、依然として市部の受診率は低かった。

要精検者数は4,498人（地域受診：2,050人、施設受診：2,448人）、要精検率は9.1%で、前年度より0.4ポイント減少している。

このうち、精密検査を受診したのは2,920人、精検受診率は64.9%で前年度より0.7ポイント増加した。

精検結果は、大腸がん139人、大腸がん疑い8人の合計147人が発見され、がん発見率は0.30%で前年度より0.02ポイント減少した。

要精検率は集団検診より施設検診の方が高いが、施設検診の精検受診率は集団検診より約10%も低かった。

2. 大腸がん検診発見大腸がん追跡調査結果

平成11年度に発見された大腸がん及び大腸がん疑い154例（地域検診：64例、施設検診：87例、職域検診：3例）について追跡調査を行った。

154例のうち、地域検診58例、施設検診80例、職域検診2例の合計140例が確定大腸がん、そのうちの早期がんは91例で早期癌率は65.0%であった。

部位別にみると「直腸」「S状結腸」で70.0%を占め、処置としては、外科手術66例、内視鏡的治療74例であった。

地区別に比較すると、東部地区では外科手術が多く実施され、西部地区は内視鏡的治療が多かった。また、医療機関での内視鏡治療がふえている。

Dukes分類はAが72.9%、組織型分類はWellが78.6%であった。

深達度分類では、早期がんの「m」「sm」が65.0%を占め、全国集計とほぼ同様であった。施設検診から進行癌が多く発見されている。

逐年受診発見進行癌は13例あり、そのほとんどは前年度便潜血陰性例であり、残りは前年度精検未受診例であった。

(1) 大腸がん検診の受診者数及び受診率の推移

区 分		平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度
一次検診	対象者数(人)	186,071	188,417	193,294	185,761	182,629	181,677
	受診者数(人)	40,358	44,494	48,538	49,957	49,302	49,544
	受診率(%)	21.7	23.6	25.1	26.9	27.0	27.3
一次検診結果	異常認めず(人)	36,581	39,983	44,003	45,127	44,612	45,046
	要精検者数(人)	3,777	4,511	4,535	4,830	4,690	4,498
	要精検者の割合(%)	9.4	10.1	9.3	9.7	9.5	9.1
精密検査	受診者数(人)	2,450	3,134	3,049	3,234	3,013	2,920
	受診率(%)	64.9	69.5	67.2	67.0	64.2	64.9
精密検査結果	大腸がん又はがんの疑いのある者(人)	115	148	169	173	159	147
	大腸がん発見率(%)	0.28	0.33	0.35	0.35	0.32	0.30

(2) 平成11年度大腸がん検診結果

1) 1次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要精検者数		異常認めず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
40 ~ 44	886	1,521	56	104	830	1,417	6.3	6.8
45 ~ 49	1,093	1,929	98	120	995	1,809	9.0	6.2
50 ~ 54	1,325	2,839	140	165	1,185	2,674	10.6	5.8
55 ~ 59	1,345	3,539	138	236	1,207	3,303	10.3	6.7
60 ~ 64	2,501	5,270	284	380	2,217	4,890	11.4	7.2
65 ~ 69	3,710	6,283	462	485	3,248	5,798	12.5	7.7
70 ~ 74	3,671	5,466	393	452	3,278	5,014	10.7	8.3
75 ~ 79	2,124	3,191	265	325	1,859	2,866	12.5	10.2
80歳以上	1,215	1,636	188	207	1,027	1,429	15.5	12.7
計	17,870	31,674	2,024	2,474	15,846	29,200	11.3	7.8
合 計	49,544		4,498		45,046		9.1	

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数 (人)		精密検査受診率 (%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	27	64	48.2	61.5
45 ~ 49	53	77	54.1	64.2
50 ~ 54	83	105	59.3	63.6
55 ~ 59	79	169	57.2	71.6
60 ~ 64	167	277	58.8	72.9
65 ~ 69	294	348	63.6	71.8
70 ~ 74	272	334	69.2	73.9
75 ~ 79	179	199	67.5	61.2
80歳以上	105	88	55.9	42.5
計	1,259	1,661	62.2	67.1
合 計	2,920		64.9	

年 齢	精 密 検 査 結 果								大腸がん 発見率 (%)	
	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん		男	女
	男	女	男	女	男	女	男	女		
40 ~ 44	20	39	7	24	0	0	0	1	0.00	0.07
45 ~ 49	20	48	32	28	0	0	1	1	0.09	0.05
50 ~ 54	34	60	44	44	1	0	4	1	0.38	0.04
55 ~ 59	34	102	39	60	1	2	5	5	0.45	0.20
60 ~ 64	57	139	106	123	0	2	4	13	0.16	0.28
65 ~ 69	92	174	181	153	0	1	21	20	0.57	0.33
70 ~ 74	91	154	165	165	0	0	16	15	0.44	0.27
75 ~ 79	58	88	107	101	0	1	14	9	0.66	0.31
80歳以上	32	33	70	49	0	0	3	6	0.25	0.37
計	438	837	751	747	2	6	68	71	0.39	0.24
合 計	1,275		1,498		8		139		0.30	

3) 検診機関別

a. 一次検診結果

一次検診結果	一次検診受診者数 (人)		一 次 検 診 結 果				要精検率(%)	
			要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	9,237	15,351	887	1,061	8,350	14,290	9.6	6.9
ファルコ	295	481	36	37	259	444	12.2	7.7
中国労働衛生協会	200	82	25	4	175	78	12.5	4.9
病 院	2,222	3,754	237	242	1,985	3,512	10.7	6.4
診 療 所	5,916	12,006	839	1,130	5,077	10,876	14.2	9.4
計	17,870	31,674	2,024	2,474	15,846	29,200	11.3	7.8
合 計	49,544		4,498		45,046		9.1	

b. 精密検査結果

一次検診機関	精密検査受診者数(人)		精密検査受診率(%)	
	男	女	男	女
保健事業団	591	788	66.6	74.3
ファルコ	30	29	83.3	78.4
中国労働衛生協会	12	4	48.0	100.0
病 院	138	150	58.2	62.0
診 療 所	488	690	58.2	61.1
計	1,259	1,661	62.2	67.1
合 計	2,920		64.9	

一次検診機関	精 密 検 査 結 果								大腸がん 発見率(%)	
	異常認めず		その他の疾病		大腸がん疑い		大腸がん			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健事業団	183	416	379	343	2	1	27	28	0.314	0.189
ファルコ	10	15	18	13	0	0	2	1	0.678	0.208
中国労働衛生協会	6	0	6	4	0	0	0	0	0.000	0.000
病 院	59	86	69	59	0	0	10	5	0.450	0.133
診 療 所	180	320	279	328	0	5	29	37	0.490	0.350
計	438	837	751	747	2	6	68	71	0.392	0.243
合 計	1,275		1,498		8		139		0.297	

4)平成11年度大腸がん検診受診状況

市町村名	受診者数				要精密検査者				検査結果別人員								
	対象者数 A	地域検診 B	施設検診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	地域検診 F	施設検診 G	計 H=F+G	要精検率 (%) I=H/D	精 受診者数 J	精検受診率 (%) K=J/H	異常認めず L	その他の 疾患 M	がん疑い N	がん O	異常者 総計 P	がん発見率 (%) Q=(N+O)/D
鳥取市	37,800	917	7,098	8,015	21.2	70	700	770	9.6	436	56.6	169	239	0	28	267	0.349
米子市	39,095	917	9,134	9,134	23.4	929	929	929	10.2	540	58.1	223	274	3	40	317	0.471
倉吉市	11,857	1,173	572	1,745	14.7	112	72	184	10.5	120	65.2	55	60	0	5	65	0.287
境港市	11,358	2,032	2,032	17.9	17.9	206	206	206	10.1	163	79.1	54	102	0	7	109	0.344
国府町	1,609	1,069	77	1,146	71.2	74	2	76	6.6	59	77.6	20	38	0	1	39	0.087
岩美町	3,574	1,144	205	1,349	37.7	98	3	101	7.5	74	73.3	33	40	0	1	41	0.074
福部町	1,260	199	215	414	32.9	24	12	36	8.7	12	33.3	9	3	0	0	3	0.000
鞆家町	2,364	1,483	93	1,576	66.7	108	8	116	7.4	71	61.2	27	42	0	2	44	0.127
船岡町	1,575	704	35	739	46.9	57	2	59	8.0	42	71.2	17	22	0	3	25	0.406
河原町	3,962	721	259	980	24.7	56	9	65	6.6	42	64.6	16	25	0	1	26	0.102
八東町	1,840	1,016	647	1,016	55.2	82	48	82	8.1	61	74.4	27	31	0	3	34	0.295
若桜町	2,515	582	647	1,229	48.9	34	48	82	6.7	50	61.0	36	13	0	1	14	0.081
用瀬町	662	539	29	568	85.8	47	2	49	8.6	26	53.1	19	7	0	0	7	0.000
佐治村	1,300	336	167	503	38.7	25	20	45	8.9	28	62.2	12	14	0	2	16	0.398
智頭町	5,638	990	76	1,066	18.9	73	5	78	7.3	57	73.1	27	30	0	0	30	0.000
気高町	2,180	58	963	1,021	46.8	9	79	88	8.6	63	71.6	31	30	1	1	32	0.196
鹿野町	1,456	44	580	624	42.9	2	33	35	5.6	15	42.9	9	6	0	0	6	0.000
曹谷町	3,319	926	85	1,011	30.5	65	13	78	7.7	48	61.5	18	27	0	3	30	0.297
羽合町	1,145	579	29	608	53.1	50	3	53	8.7	38	71.7	14	22	0	2	24	0.329
泊	866	222	203	425	49.1	23	44	67	15.8	53	79.1	28	23	1	1	25	0.471
東郷町	2,119	493	3	496	23.4	38	0	38	7.7	25	65.8	10	15	0	0	15	0.000
三朝町	2,358	801	801	801	34.0	52	0	52	6.5	42	80.8	14	23	1	4	28	0.624
関金町	1,264	560	560	560	44.3	43	43	43	7.7	27	62.8	14	13	0	0	13	0.000
北条町	2,354	432	199	631	26.8	47	40	87	13.8	71	81.6	29	40	0	2	42	0.317
大栄町	2,860	1,714	1,714	1,714	59.9	130	0	130	7.6	90	69.2	54	34	0	2	36	0.117
東伯町	4,534	1,047	1,047	1,047	23.1	99	99	99	7.7	77	77.8	45	30	0	2	32	0.191
赤碕町	2,887	644	644	644	22.3	69	69	69	10.7	54	78.3	18	34	0	2	36	0.311
西伯町	1,268	30	744	774	61.0	8	144	152	19.6	86	56.6	55	27	1	3	31	0.517
会見町	1,696	328	328	328	19.3	34	34	34	10.4	24	70.6	14	7	0	3	10	0.915
岸本町	3,095	567	567	567	18.3	39	39	39	6.9	24	61.5	10	11	0	3	14	0.529
日吉津村	800	403	158	561	70.1	23	21	44	7.8	30	68.2	15	15	0	0	15	0.000
淀江町	3,889	776	125	901	23.2	73	24	97	10.8	76	78.4	34	38	0	4	42	0.444
大山町	2,690	629	67	696	25.9	55	15	70	10.1	49	70.0	28	21	0	0	21	0.000
名和町	2,100	1,299	1,299	1,299	61.9	80	80	80	6.2	51	63.8	20	30	0	1	31	0.077
中山町	1,614	531	103	634	39.3	47	14	61	9.6	41	67.2	18	21	0	2	23	0.315
日南町	4,528	568	568	568	12.5	38	38	38	6.7	31	81.6	10	17	0	4	21	0.704
日野町	2,060	747	747	747	36.3	52	52	52	7.0	37	71.2	16	18	0	3	21	0.402
江府町	2,482	538	538	538	21.7	35	35	35	6.5	24	68.6	11	11	0	2	13	0.372
溝口町	1,704	837	837	837	49.1	79	79	79	9.4	63	79.7	16	45	1	1	47	0.239
合計	181,677	25,646	23,898	49,544	27.3	2,050	2,448	4,498	9.1	2,920	64.9	1,275	1,498	8	139	1,645	0.297

(3) 平成11年度大腸がん検診発見大腸がん患者追跡調査結果

表1 報告癌と確定癌

	地 域				施 設				職 域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
報 告 癌	19	19	26	64	30	3	54	87	3	154
確 定 癌	18	17	23	58	28	3	49	80	2	140
腺 癌	0	1	1	2	1	0	3	4	1	7
そ の 他	0	1	1	2	1	0	1	2	0	4
未 受 診	1	0	1	2	0	0	1	1	0	3

表2 性及び年齢

年 齢	40～	45～	50～	55～	60～	65～	70～	75～	80～	計	
地 域	男	0	0	2	1	2	11	7	6	0	29
	女	0	0	0	3	6	8	5	5	2	29
	計	0	0	2	4	8	19	12	11	2	58
施 設	男	0	1	2	4	3	9	8	7	2	36
	女	1	1	1	3	9	11	10	5	3	44
	計	1	2	3	7	12	20	18	12	5	80
職 域	男	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
総 計	男	1	1	5	5	5	20	15	13	2	67
	女	1	1	1	6	15	19	15	10	5	73
	計	2	2	6	11	20	39	30	23	7	140

表3 部 位

()内%

	地 域				施 設				職 域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R	4	2	5	11	8	1	10	19	1	31(22.1)
S	11	7	9	27	12	1	26	39	1	67(47.9)
D	0	1	1	2	3	0	1	4	0	6(4.3)
T	0	1	1	2	1	0	5	6	0	8(5.7)
A	1	4	5	10	3	0	4	7	0	17(12.1)
C	1	2	2	5	1	0	2	3	0	8(5.7)
不 明	1	0	0	1	0	1	1	2	0	3(2.1)
計	18	17	23	58	28	3	49	80	2	140(100.0)

表4 大きさ

()内%

大きさ(mm)	地 域				施 設				職 域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
0 ~ 10	6	3	7	16	4	1	8	13	0	29(20.7)
11 ~ 20	7	5	6	18	11	0	9	20	1	39(27.9)
21 ~ 50	4	5	3	12	10	0	16	26	0	38(27.1)
51 ~	1	0	3	4	2	0	7	9	1	14(10.0)
不 明	0	4	4	8	1	2	9	12	0	20(14.3)
計	18	17	23	58	28	3	49	80	2	140(100.0)

表5 肉眼分類

肉眼分類	0型	1型	2型	3型	4型	5型	不明	計
	91	9	36	3	0	0	1	140

早期癌	p	sp	s	a	a+c	c	その他	不明	計
分類	34	29	16	8	2	0	0	2	91

表6 深達度

()内%

深達度	地 域				施 設				職 域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
m	11	11	16	38	10	3	22	35	1	74
sm	4	2	2	8	4	0	4	8	0	16
不明	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
小計	15	13	18	46	15	3	26	44	1	91(65.0)
mp	0	3	1	4	3	0	7	10	0	14
ss	2	1	3	6	7	0	9	16	0	22
se	1	0	1	2	1	0	6	7	1	10
si	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2
不明	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
小計	3	4	5	12	13	0	23	36	1	49(35.0)
計	18	17	23	58	28	3	49	80	2	140(100.0)

表7 Dukes分類

()内%

Dukes分類	地 域				施 設				職 域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
A	15	16	19	50	20	3	28	51	1	102(72.9)
B	1	0	2	3	3	0	6	9	0	12(8.6)
C	2	1	2	5	3	0	11	14	1	20(14.3)
D	0	0	0	0	2	0	2	4	0	4(2.9)
不 明	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2(1.4)
計	18	17	23	58	28	3	49	80	2	140(100.0)

表8 組織型分類

()内%

組 織 型	地 域				施 設				職 域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
Well	15	15	22	52	18	1	38	57	1	110(78.6)
Mod	1	2	0	3	10	1	11	22	0	25(17.9)
Poor	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1(0.7)
Muci	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Signet	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Squa	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Pap	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	1	0	1	2	0	1	0	1	1	4(2.9)
計	18	17	23	58	28	3	49	80	2	140(100.0)

表9 治療方法

()内%

治療方法	地 域				施 設				職 域	総 計
	東部	中部	西部	小計	東部	中部	西部	小計		
外科手術	6	9	8	23	18	0	24	42	1	66(47.1)
内視鏡治療	12	8	15	35	10	3	25	38	1	74(52.9)
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	18	17	23	58	28	3	49	80	2	140(100.0)

表10 平成11年度逐年検診発見進行癌

症 例				病 巣					便潜血	地区	検診
氏 名	年令	性	部位	大きさ (mm)	深 達	肉眼型	組織型				
1	K・E	73	f	A	50	se	2	Well	++	東	地 域
2	Y・S	65	m	R	15	mp	1	Well	- +	中	
3	A・K	68	f	C	45	ss	2	Mod	- +	中	
4	N・M	57	f	R	15	ss	2	Well	- +	西	
5	T・T	77	f	S	10	mp	1	Well	++	西	
6	K・M	69	f	A	35	mp	2	Well	++	東	施 設
7	K・Y	73	m	D	45	ss	2	Mod	++	東	
8	K・T	71	f	S	95	mp	1	Well	- +	西	
9	S・S	66	f	S	24	ss	2	Well	+ -	西	設
10	I・B	61	m	S	25	se	2	Well	- +	西	
11	K・Y	68	f	C	18	mp	1	Mod	++	西	
12	M・M	67	f	S	35	ss	3	Mod	- +	西	
13	K・E	60	f	S	29	mp	2	Mod	++	西	

表11 2年前受診進行癌

症 例				病 巣					便潜血	地区	検診
	氏 名	年令	性	部位	大きさ (mm)	深 達	肉眼型	組織型			
1	M・M	70	f	R	40	ss	2	Well	++	東	地 域
2	F・H	65	f	R	55	ss	2	Por	- +	東	
3	N・M	78	m	S	20	mp	2	Well	++	中	
4	M・S	73	m	S	20	mp	1	Mod	+ -	中	
5	S・T	59	m	S	20	ss	2	Mod	- +	東	施 設
6	T・H	79	f	D	13	ss	2	Well	++	東	
7	Y・N	72	m	R	20	mp	2	Mod	- +	東	
8	U・Y	61	f	R	55	se	3	Well	- +	西	
9	K・K	67	m	A	50	ss	2	Mod	+ -	西	
10	K・Y	64	m	S	10	mp	2	Well	+ -	西	

6 . 肝 臓 が ん 検 診

1 . 肝臓がん検診実績

平成11年度は23市町村で実施し、対象者数（基本健康診査の対象者数）は38,460人で、このうち受診者数は3,788人で受診率は9.8%であった。

一次検診の結果、要指導者は353人（9.3%）、要精検者は509人（13.4%）であった。

このうち、精密検査を受診したのは313人、精検受診率61.5%であった。また、精検受診者313人のうち、HBs抗原陽性者は80人、HCV抗体陽性者は101人であった。

この結果、肝臓がんまたは肝臓がん疑いの者は2人であり、発見率は0.05%であった。

平成7年度～平成11年度の5年間を集計すると、受診者数は62,918人で、そのうちHBs抗原陽性者は1,705人（2.71%）、HCV抗体陽性者は2,952人（4.69%）であった。HCV抗体陽性率は60歳以上が高く、HBs抗原陽性率は40～59歳が高い傾向は例年と同様であった。

2 . 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査結果

肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査を平成10年度より行うことになり、平成11年度は27市町村で実施された。

健康指導対象者はB型肝炎ウイルス陽性者が642人、C型肝炎ウイルス陽性者が678人で、このうち受診者数はB型肝炎ウイルス陽性者が295人、C型肝炎ウイルス陽性者が371人であった。

定期検査の結果、慢性肝炎と診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が59人（受診者数の20.0%）、C型肝炎ウイルス陽性者が186人（受診者数の50.1%）であった。また、肝硬変と診断された人はB型肝炎ウイルス陽性者が4人（受診者数の1.4%）、C型肝炎ウイルス陽性者が16人（受診者数の4.3%）であった。

肝臓がん疑いまたは肝臓がんと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が2人（受診者数の0.7%）、C型肝炎ウイルス陽性者が8人（受診者数の2.2%）であった。

3 . 肝臓がん検診発見肝臓がん追跡調査結果

(1) 平成11年度肝臓がん検診によりがん及びがん疑いの者が2名発見され、確定調査の結果、確定がんが1名、血管腫が1名であった。また、肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査の結果、がん及びがん疑いの者が6名発見された。確定調査を行った結果、確定がんが4例であった。

(2) 平成7年度～11年度肝臓がん検診で確定がんが15例、平成10、11年度定期検査確定がんが14例であった。

(1) 平成11年度肝臓がん検診結果

1) 一次検診結果(年齢階級別)

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)		一 次 検 診 結 果						要精検率(%)	
			要 指 導 者 数		要 精 検 者 数		異 常 認 め ず			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40~44	(35) 187	(46) 302	(7) 37	(2) 18	(12) 38	(1) 18	(16) 112	(43) 266	20.3	6.0
45~49	(42) 160	(76) 277	(6) 24	(2) 7	(15) 38	(5) 25	(21) 98	(69) 245	23.8	9.0
50~54	(43) 150	(60) 351	(10) 33	(5) 32	(6) 27	(9) 39	(27) 90	(46) 280	18.0	11.1
55~59	(31) 157	(52) 320	(3) 23	(4) 21	(6) 33	(5) 36	(22) 101	(43) 263	21.0	11.3
60~64	(35) 267	(36) 396	(6) 41	(1) 28	(1) 49	(4) 47	(28) 177	(31) 321	18.4	11.9
65~69	(33) 272	(18) 326	(3) 37	(2) 16	(3) 52	(1) 43	(27) 183	(15) 267	19.1	13.2
70~74	(14) 141	(20) 201	(0) 15	(1) 7	(3) 15	(2) 16	(11) 111	(17) 178	10.6	8.0
75~79	(6) 80	(4) 101	(1) 5	(0) 8	(1) 11	(0) 9	(4) 64	(4) 84	13.8	8.9
80歳以上	(3) 46	(3) 54	(0) 1	(0) 0	(0) 6	(0) 7	(3) 39	(3) 47	13.0	13.0
計	(242) 1,460	(315) 2,328	(36) 216	(17) 137	(47) 269	(27) 240	(159) 975	(271) 1,951	18.4	10.3
合 計	(557) 3,788		(53) 353		(74) 509		(430) 2,926		13.4	

()内は、ウイルス検査のみした人の再掲

2) 精密検査結果 (年齢階級別)

年 齢	精密検査受診者数 (人)		精密検査受診率 (%)	
	男	女	男	女
40 ~ 44	(9) [3] 25	(6) [2] 8	65.8	44.4
45 ~ 49	(7) [1] 23	(7) [4] 17	60.5	68.0
50 ~ 54	(5) [4] 20	(6) [9] 26	74.1	66.7
55 ~ 59	(5) [3] 18	(8) [7] 20	54.5	55.6
60 ~ 64	(5) [5] 24	(5) [16] 37	49.0	78.7
65 ~ 69	(4) [6] 23	(8) [18] 29	44.2	67.4
70 ~ 74	(1) [4] 11	(2) [5] 9	73.3	56.3
75 ~ 79	(1) [4] 9	(1) [3] 5	81.8	55.6
80歳以上	(0) [4] 5	(0) [3] 4	83.3	57.1
計	(37) [34] 158	(43) [67] 155	58.7	64.6
合 計	(80) [101] 313		61.5	

* () 内はHBs抗原陽性者で再掲

* [] 内はHCV抗体陽性者で再掲

年齢	精 密 検 査 結 果																					
	異常なし		その他の疾病		脂肪肝		HBVキャリア・HCVキャリア		慢性肝炎		肝硬変		アルコール性肝臓		その他		肝臓がん		肝臓がん発見率(%)			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40~44	0	0	24	8	6	1	8	5	2	2	1	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0.53	0.00
45~49	2	3	21	14	5	3	6	8	2	2	0	0	8	0	0	1	0	0	0	0	0.00	0.00
50~54	1	0	19	26	2	9	7	12	1	3	0	0	8	1	1	1	0	0	0	0	0.00	0.00
55~59	2	1	16	19	2	3	4	11	3	4	0	0	6	0	1	1	0	0	0	0	0.00	0.00
60~64	2	3	22	34	2	10	7	12	5	6	0	0	7	0	1	6	0	0	0	0	0.00	0.00
65~69	0	2	23	27	3	3	6	14	6	8	1	1	6	0	1	1	0	0	0	0	0.00	0.00
70~74	2	0	9	8	1	2	3	4	2	2	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0.00	0.50
75~79	2	1	7	4	2	1	4	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
80歳以上	0	0	5	4	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0.00	0.00
計	11	10	146	144	23	32	47	68	23	30	2	2	44	1	7	11	0	1	1	0	0.07	0.04
合計	21		290		55		115		53		4		45		18		1		0		0.05	

年代別肝炎ウイルス陽性率

(人、%)

年齢区分	一次検診受診者数	HBs抗原陽性者	HBs抗原陽性率(%)	HBs抗原陽性者	HBs抗原陽性率(%)	HCV抗原陽性者	HCV抗原陽性率(%)
40~44	489	20	4.1	9	1.8		
45~49	447	26	5.8	7	1.6		
50~54	500	13	2.6	21	4.2		
55~59	477	20	4.2	18	3.8		
60~64	654	17	2.6	28	4.3		
65~69	598	19	3.2	37	6.2		
70~74	342	5	1.5	15	4.4		
75~79	181	4	2.2	8	4.4		
80歳以上	100	1	1.0	8	8.0		
合計	3,788	125	3.3	151	4.0		

3)平成11年度肝臓がん検診受診状況

市町村対象者	受診者			要指導者			要精密検査者			検査結果別人員									
	集検 A	団診 B	設診 C	計 D=B+C	受診率 (%) E=D/A	集検 F	団診 G	設診 H	計 I=F+G	集検 J	団診 K	設診 L	計 M=I+J	精密検査 率 (%) N=M/O	異常 認め P	その他 の疾 病 Q	がん 疑い が R	異常 計 総 S	異常 計 率 (%) T=(R+S)/D
倉吉市	(0)	(0)	242	(0)	7.2	(0)	19	(0)	65	(0)	24	(0)	103	12.5	5	69	0	0	69
国府町	(2)	(0)	44	(2)	5.9	(0)	5	(0)	5	(0)	(0)	(0)	5	11.4	0	3	0	0	3
福部村	(0)	(24)	52	(24)	5.6	(0)	4	(0)	4	(0)	3	(3)	7	13.5	0	2	0	0	2
郡家町	(14)	(0)	367	(14)	7.7	(0)	27	(0)	27	(2)	(0)	(2)	100	27.2	0	60	1	0	61
船岡町	(23)	(0)	130	(23)	17.1	(3)	14	(3)	14	(2)	(0)	(2)	17	13.1	0	11	0	0	11
河原町	(0)	(0)	107	(0)	100.0	(0)	18	(0)	18	(0)	(0)	(0)	16	15.0	0	6	0	0	6
若桜町	(0)	(0)	38	(0)	100.0	(0)	2	(0)	2	(0)	(0)	(0)	10	26.3	0	8	0	0	8
用瀬町	(8)	(0)	59	(8)	4.4	(0)	0	(0)	2	(2)	(0)	(2)	5	16.9	0	5	0	0	5
佐治村	(0)	(0)	44	(0)	100.0	(0)	5	(0)	7	(0)	(0)	(0)	4	9.1	2	1	0	0	1
鹿野町	(1)	(0)	34	(1)	5.5	(0)	0	(0)	0	(0)	(0)	(0)	3	8.8	0	3	0	0	3
青谷町	(0)	(0)	71	(0)	4.1	(0)	19	(0)	19	(0)	(0)	(0)	9	11.7	0	0	0	0	0
羽合町	(0)	(0)	29	(0)	11.4	(0)	1	(0)	1	(0)	(0)	(0)	3	10.3	0	1	0	0	1
泊村	(9)	(0)	239	(9)	37.6	(0)	14	(0)	15	(1)	(0)	(1)	17	7.1	1	6	0	0	6
東郷町	(64)	(0)	270	(64)	17.8	(8)	9	(8)	22	(7)	(0)	(7)	37	13.7	2	21	0	0	21
北条町	(0)	(0)	161	(0)	100.0	(0)	34	(0)	34	(0)	(0)	(0)	14	8.7	0	3	0	0	3
大栄町	(396)	(0)	495	(396)	18.3	(40)	49	(40)	65	(55)	(0)	(55)	65	13.1	5	42	0	1	43
西伯町	(0)	(0)	132	(0)	26.1	(0)	10	(0)	10	(0)	(0)	(0)	21	15.9	1	16	0	0	16
岸本町	(9)	(0)	94	(9)	18.8	(1)	9	(1)	9	(1)	(0)	(1)	8	8.5	0	0	0	0	0
日吉津村	(0)	(0)	59	(0)	44.7	(0)	7	(0)	7	(0)	(0)	(0)	9	15.3	0	9	0	0	9
淀江町	(0)	(0)	205	(0)	9.8	(0)	23	(0)	23	(0)	(0)	(0)	18	9.2	3	14	0	0	14
中山町	(0)	(0)	47	(0)	16.0	(0)	4	(0)	4	(0)	(0)	(0)	1	7.4	0	2	0	0	2
日南町	(7)	(0)	65	(7)	2.0	(1)	0	(1)	3	(1)	(0)	(1)	8	12.3	2	6	0	0	6
溝口町	(0)	(0)	37	(0)	23.0	(0)	9	(0)	9	(0)	(0)	(0)	2	5.4	0	2	0	0	2
合計	(533)	(24)	3,788	(557)	9.8	(53)	137	(53)	353	(71)	(3)	(74)	509	13.4	21	290	1	1	292

*上段()はウイルス検査のみ実施した人の再掲

4) 平成7～11年度 年代別肝臓がん検診結果

年 齢	一 次 検 診 受診者数(人)		HBs 抗 原 陽 性 者(人)		HBs 抗 原 陽 性 率(%)		HCV 抗 体 陽 性 者(人)		HCV 抗 体 陽 性 率(%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	1,256	2,598	67	86	5.33	3.31	29	34	2.31	1.31
45～49	1,486	3,363	81	145	5.45	4.31	30	84	2.02	2.50
50～54	1,245	3,717	69	153	5.54	4.12	22	135	1.77	3.63
55～59	1,461	4,738	57	158	3.90	3.33	54	204	3.70	4.31
60～64	3,356	7,528	100	167	2.98	2.22	147	408	4.38	5.42
65～69	4,450	7,958	112	165	2.52	2.07	239	443	5.37	5.57
70～74	3,796	6,329	66	117	1.74	1.85	234	364	6.16	5.75
75～79	2,048	3,632	46	60	2.25	1.65	124	195	6.05	5.37
80歳以上	1,491	2,466	15	41	1.01	1.66	94	112	6.30	4.54
計	20,589	42,329	613	1,092	2.98	2.58	973	1,979	4.73	4.68
合 計	62,918		1,705		2.71		2,952		4.69	

(2) 平成7年度から平成10年度肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者の定期検査結果

1) 平成11年度B型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成11年4月1日 現在の実人数)		受診者数 (平成11年3月31日 現在の実人数)		定期検査結果												結果					
	男	女	男	女	健康			慢性肝炎			肝硬変		アルコロール性 肝障害		診断		名称					
	HBsキャリア		無症候性		脂肪肝	慢性肝炎	肝硬変	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	26	24	4	5	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	31	38	3	8	2	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50～54	36	71	6	18	0	2	2	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
55～59	25	45	5	24	0	2	3	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
60～64	27	64	7	22	0	1	4	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
65～69	39	65	16	25	0	2	7	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
70～74	27	61	16	26	0	4	6	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79	15	23	3	7	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
80歳以上	10	15	4	6	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	236	406	64	141	3	11	29	30	1	3	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0	6	3
合計	642	295	205	14	59	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	3

2) 平成11年度C型肝炎ウイルス陽性者年代別定期検査結果報告

年齢	健康指導対象者 (平成11年4月1日 現在の実人数)		受診者数 (平成11年3月31日 現在の実人数)		定期検査結果												結果					
	男	女	男	女	健康			慢性肝炎			肝硬変		アルコロール性 肝障害		診断		名称					
	HBsキャリア		無症候性		脂肪肝	慢性肝炎	肝硬変	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
40～44	5	5	0	4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49	7	15	0	5	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～54	4	21	1	3	1	1	0	7	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55～59	8	42	1	7	0	1	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
60～64	42	92	8	14	0	0	6	20	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	2	0	2
65～69	46	112	7	22	0	1	14	36	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
70～74	55	90	13	24	1	2	16	32	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0
75～79	30	53	11	10	0	1	10	18	0	3	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	1	2
80歳以上	25	26	6	8	0	0	6	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	222	456	47	90	2	6	54	132	2	14	2	0	1	1	4	2	3	4	1	6	7	7
合計	678	371	137	8	186	16	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	7	7

	健康指導 対象者数	定期検査 受診者数	慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん疑い または肝臓がん
B型肝炎ウイルス 陽性者	642	295	59 (20.0%)	4 (1.4%)	2 (0.7%)
C型肝炎ウイルス 陽性者	678	371	186 (50.1%)	16 (4.3%)	8 (2.2%)

(3) 平成11年度肝臓がん検診等発見がん患者追跡調査結果について

1) 平成11年度肝臓がん検診発見及び定期検査(がん疑いまたはがん)

	診断時 年齢	性	診断	治療	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考
(検診発見癌または癌疑い)											
1	49	男	癌	TAI/RES	>4個	S4568	80×80	浸潤	無	B	4か月後死亡
2	71	女	血管腫	切除	2個	S83	85×68		無	(-)	平成12年5月手術
(定期検査による発見癌または癌疑い)											
3	79	男	癌	TAE	単発	S8	10×10	浸潤	有	C	8か月後死亡
4	63	女	癌	PEIT	単発	S2	10×10	腫瘤	無	C	平成9年12月初回
5	56	男	癌疑い						有	B	平成12年8月精査中
6	79	女	癌	TAE	単発	S6	10×10	腫瘤	有	B	平成12年2月初回
7	82	男	癌	TAE	単発	S4	55×40	腫瘤	有	C	平成12年4月初回
8	50	女	癌疑い						無	C	癌否定済み

2) 平成10年度肝炎ウイルス陽性者定期検査による発見癌追跡調査報告

	診断時 年齢	性	治療	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考	
1	71	男	切除	95.08	単発		腫瘤	有	C		
2	76	女	TAE	98.06.30	単発	S8	30×30	腫瘤	有	C	TAE計3回施行
3	70	男	切除	98.08.31	単発	S8	40×30	腫瘤	有	C	無再発生存中
4	63	男	切除	97.02.26	単発	S8	40×40	腫瘤	有	C	1年後再発、TAE5回
5	83	男	TAE	99.02.11	>4個	S35678	40×30		有	C	00.01.13死亡
6	71	男	TAE	97.07.16	2個	S68	30×30	腫瘤	無	C	TAE計2回、無再発
7	68	男	MCT	99.01.25	4個	S2377	27×27	腫瘤	有	C	1年6か月後再発
8	63	女	PEIT	97.12.03	単発	S2	10×10	腫瘤	無	C	無再発生存中
9	59	男	TAE	98.05	3個	S578	20×20	腫瘤	有	B	TAE計3回施行
10	64	男	切除	00.02.08	単発	S5/6	75×70	腫瘤	無	C	
11	66	男	切除	00.06.13	2個	S65	15×15	腫瘤	有	B	

3) 平成7・8・9・10年度肝臓がん検診発見癌追跡調査報告

	診断時 年齢	性	治療	病巣数	部位	大きさ	型	肝硬変	ウイルス	備考	
1	74	女	切除	95.10.24	単発	S4	55×55	腫瘤	有	C	1年6か月後再発
2	70	女	TAE/PEIT	96.02.20	単発	S8	40×38	腫瘤	無	C	死亡
3	63	女	切除	96.03.13	単発	S7	30×23	腫瘤	有	C	無再発生存中
4	83	男	TAE	96.07.15	単発	S4	12×12	腫瘤	無	C	3年9か月後死亡
5	74	女	TAE	96.08.29	4以上	S5/6/7/8	35×35	腫瘤	無	C	1年8か月後死亡
6	64	女	TAE	96.10.25	4以上	S6/7	67×57	腫瘤	無	B	9か月後死亡
7	72	男	TAE	96.11.01	2個	S6	20×20	腫瘤	有	(-)	1年1か月後死亡
8	70	男	PEIT	96.11.22	単発	S5	25×25	腫瘤	有	C	9か月後同所再発
9	69	男	PEIT	97.01.07	単発	S7	10×9	腫瘤	無	C	2年6か月後再発
10	73	女	TAE/切除	97.11.17	4以上	S2/3/4	80×60	腫瘤	無	C	3か月後死亡
11	61	男	TAE	97.11.17	3個	S5/6/8	10×10	腫瘤	有	C	2年3か月後死亡
12	75	男	TAE	97.12.04	単発	S7/8	40×32	腫瘤	無	C	7か月後死亡
13	57	男	TAE	98.03.03	単発	S1	70×50	腫瘤	有	B	1年後死亡
14	80	女	切除	98.07.31	単発	S5/6	25×25	腫瘤	無	C	9か月後死亡

7. 全国がん検診実績との比較

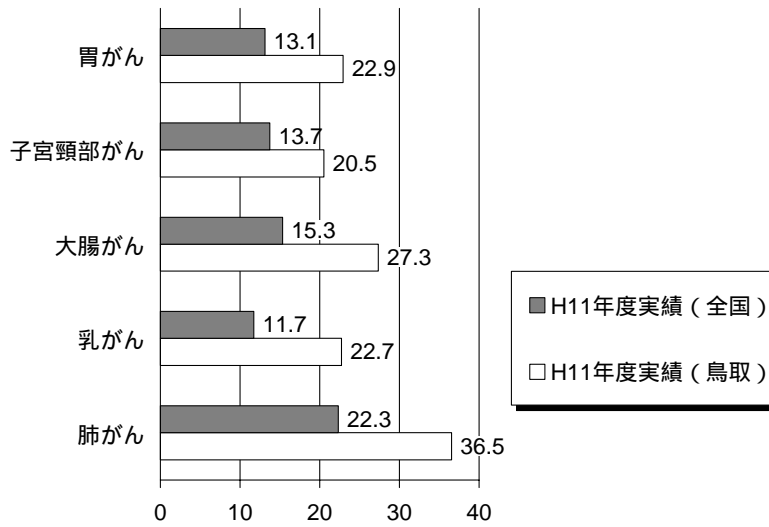
(単位：人 %)

区 分		平成11年度実績(鳥取)	平成11年度実績(全国)
胃 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	174,021	31,957,425
	受 診 者 数(人)	39,783	4,171,075
	受 診 率(%)	22.9	13.1
	要 精 検 者 数(人)	6,464	496,766
	要 精 検 率(%)	16.2	11.9
	精 検 受 診 者 数(人)	4,894	382,561
	精 検 受 診 率(%)	75.7	77.0
	がん又はがんの疑いのある者	90	7,133
	が ん 発 見 率(%)	0.23	0.17
H11年度受診率全国順位	12		
子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	126,103	25,641,435
	受 診 者 数(人)	25,874	3,508,486
	受 診 率(%)	20.5	13.7
	要 精 検 者 数(人)	137	34,491
	要 精 検 率(%)	0.53	1.0
	精 検 受 診 者 数(人)	112	24,569
	精 検 受 診 率(%)	81.8	71.2
	がん又はがんの疑いのある者	59	6,936
	が ん 発 見 率(%)	0.23	0.20
H11年度受診率全国順位	12		
肺 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	177,815	31,910,722
	受 診 者 数(人)	64,845	7,127,240
	受 診 率(%)	36.5	22.3
	要 精 検 者 数(人)	169	189,302
	要 精 検 率(%)	0.26	2.7
	精 検 受 診 者 数(人)	142	149,188
	精 検 受 診 率(%)	84.0	78.8
	がん又はがんの疑いのある者	58	6,326
	が ん 発 見 率(%)	0.09	0.09
H11年度受診率全国順位	15		

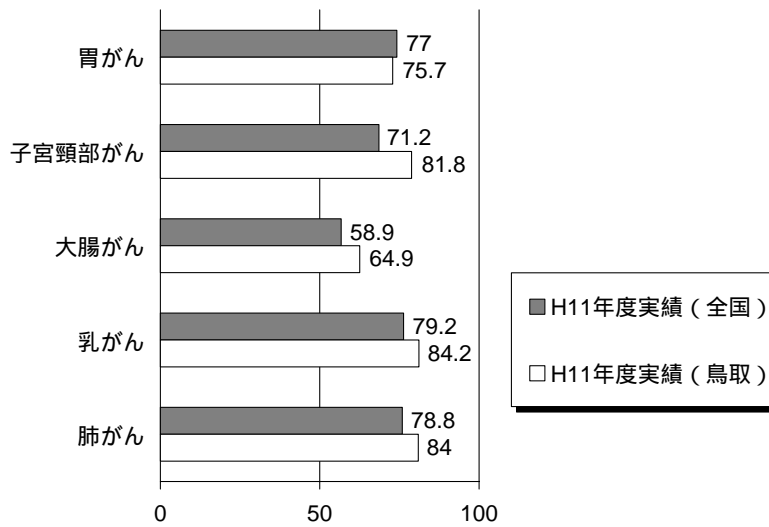
区 分		平成11年度実績（鳥取）	平成11年度実績（全国）
乳 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	128,948	26,227,471
	受 診 者 数(人)	29,231	3,057,444
	受 診 率(%)	22.7	11.7
	要 精 検 者 数(人)	653	134,788
	要 精 検 率(%)	2.23	4.4
	精 検 受 診 者 数(人)	550	106,687
	精 検 受 診 率(%)	84.2	79.2
	がん又はがんの疑いのある者	24	4,393
	が ん 発 見 率(%)	0.08	0.14
H11年度受診率全国順位	7		
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数(人)	181,677	34,460,303
	受 診 者 数(人)	49,544	5,271,196
	受 診 率(%)	27.3	15.3
	要 精 検 者 数(人)	4,498	372,176
	要 精 検 率(%)	9.1	7.1
	精 検 受 診 者 数(人)	2,920	219,151
	精 検 受 診 率(%)	64.9	58.9
	がん又はがんの疑いのある者	147	11,245
	が ん 発 見 率(%)	0.30	0.21
H11年度受診率全国順位	9		

老人保健事業健康診査（平成11年度実績）

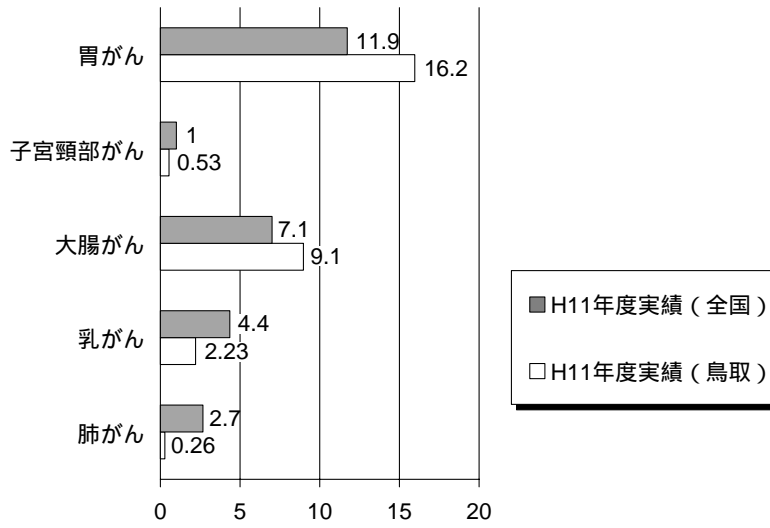
受診率（％）



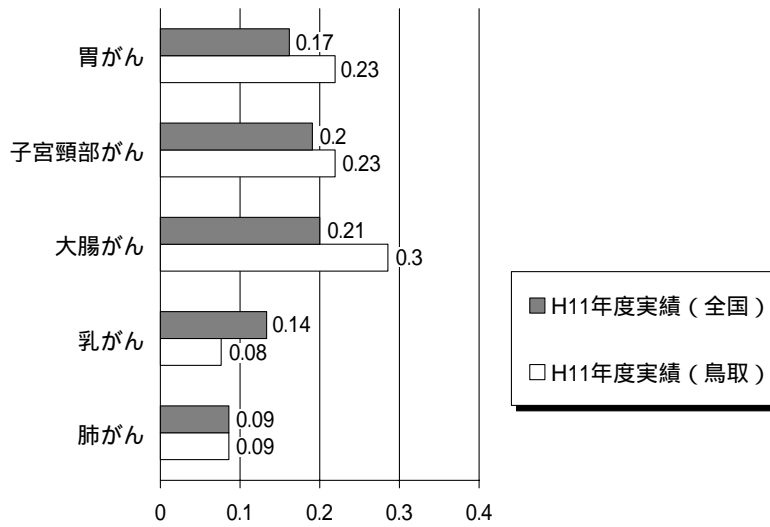
精検受診率（％）



要精検率 (%)



がん発見率 (%)



**・平成12年度各がん検診従事者講習会及び
症例研究会開催状況**

平成12年度がん検診従事者講習会及び症例研究会開催状況

事	業	名	開催日時	場	所	出席者数	内	容
胃	がん検診従事者講習会及び症例研究会	胃がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成12年8月10日(木) 午後4時	鳥取市 鳥取県健康会館	鳥取市 鳥取県健康会館	109名	演題「鳥取県胃集校の問題点と今後の展望」 講師：鳥取県立中央病院内科 部長 秋藤洋一先生 症例検討 1例：鳥取赤十字病院 田中久雄先生 東部 1例：鳥取県立厚生病院 佐藤 徹先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 佐藤 徹先生 西部 1例：山陰労災病院 三浦邦彦先生	
子宮がん	子宮がん検診従事者講習会	子宮がん検診従事者講習会	平成13年2月1日(木) 午後4時	倉吉市 中部医師会館	倉吉市 中部医師会館	42名	演題「子宮がん検診におけるピットフォール」 講師：鳥取大学医学部女性診療科 講師 入江 隆先生 症例検討 子宮頸部がん発見症例 単検診1例、施設検診5例	
子宮がん	子宮がん検診症例研究会	子宮がん検診症例研究会	平成12年11月26日(日) 午後3時	米子市 西部医師会館	米子市 西部医師会館	51名	症例検討 子宮頸部がん発見症例 単検診1例、施設検診5例	
肺	肺がん検診従事者講習会及び症例研究会	肺がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成13年2月17日(土) 午後4時	鳥取市 鳥取県健康会館	鳥取市 鳥取県健康会館	94名	演題「肺がんと鑑別が必要な各種呼吸器疾患について」 講師：鳥取大学医学部第3内科 教授 清水英治先生 症例検討 1例：鳥取市立病院 山下 裕先生 東部 1例：鳥取県立厚生病院 吹野俊介先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 吹野俊介先生 西部 1例：鳥大医第2外科 中村廣繁先生	
乳	乳がん検診従事者講習会及び症例研究会	乳がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成12年8月5日(土) 午後3時30分	米子市 西部医師会館	米子市 西部医師会館	76名	演題「乳がん検診のこれから 乳がん検診の過去・現在・未来」 講師：医療法人同仁会永井病院理事長 永井 宏先生 症例検討 1例：日野病院 岡野一廣先生 西部 1例：博愛病院 衣笠陽一先生 西部 1例：山陰労災病院 大谷眞二先生	
大腸	大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会	大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成12年8月26日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館	倉吉市 中部医師会館	77名	講演「大腸がん検診に対する開業医の取り組み 大腸内視鏡検査を中心に」 講師：吉中胃腸科医院 院長 吉中正人先生 症例検討 1例：鳥取県立中央病院 秋藤洋一先生 東部 1例：鳥取県立厚生病院 佐藤 徹先生 中部 1例：鳥取県立厚生病院 佐藤 徹先生 西部 1例：博愛病院 山藤由明先生	
肝臓	肝臓がん検診従事者講習会及び症例研究会	肝臓がん検診従事者講習会及び症例研究会	平成13年2月24日(土) 午後4時	倉吉市 中部医師会館	倉吉市 中部医師会館	90名	演題「肝臓がん診療の現状」 講師：鳥取大学医学部第2内科 助手 前田直人先生 症例検討 1例：鳥取赤十字病院 松田裕之先生 東部 1例：鳥取赤十字病院 松田裕之先生 中部 1例：県立厚生病院 仙田哲朗先生 西部 1例：山陰労災病院 岸本幸廣先生	

1. 胃がん検診症例研究会

日 時 平成12年8月10日(木) 午後4時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 田 中 久 雄

75才、男性

集検歴：平成6年：幽門前庭部大弯弯入、3、不詳

平成10年：胃角部小弯变形、3、未受診

平成11年：幽門前庭部欠損様、5、当院にて精検

経 過：平成11年12月8日、当院にて胃内視鏡検査施行

噴門部から幽門部にかけて4型胃癌を認めた。

生検にてpoorly differentiated adenocarcinomaの診断であった。

平成11年12月27日、胃空腸吻合術施行

胃前庭部を中心に肉眼分類4型の胃癌

P₃H₀T₃、stage b、Cur C

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 佐 藤 徹

70歳、女性

集検歴：平成9年 異常なし

平成10年 異常なし

平成11年 異常なし

平成12年 胃体部大弯弯入、3、要精検

経 過：平成12年5月17日の胃集検にて要精検とされ、細川内科医院受診、前庭部大弯に隆起性病変を指摘され、当院内科紹介受診、精査加療目的に入院。

胃内視鏡検査、胃造影検査にて、前庭部大弯に c+ a型、一部に 型の高い隆起をもった病変を認めた。進達度はmpと診断した。

幽門側胃切除術施行、3×1.5cmの c+ a型病変とそれに連続した、1×1×0.8cmの 型の高い隆起性病変を認めた。進達度は、smであった。組織型は、poorly differentiated adenocarcinomaであった。

検 討：他部位チェック症例であり、病変は平成10年の胃集検フィルムでも指摘可能ではとの意見もあった。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 三浦邦彦

75歳、男性

集検歴：平成10年8月21日胃集検（車検診）では異常なし。

平成11年8月19日胃集検（車検診）にて異常（噴門部欠損様）を指摘される。

結果：平成11年10月20日胃切除術施行

1) 胃幽門前庭部（小弯からやや後壁）

肉眼分類 2型 4.0×3.5cm

（mp、tub₂、P₀H₀N₁M₀、stage）

2) 胃噴門部 良性ポリープ（過形成性）

検討：平成10年集検フィルム

二重造影の1枚のみに周堤の一部と考えられる所見が描出されているが、この病変の正確な指摘は困難である。

平成11年集検フィルム

幽門前庭部小弯のわずかな壁不整が指摘されるが、同部位の十二指腸との重なり、瀑状胃による撮影の困難さなどの悪条件のため病変の指摘は容易ではない。噴門部に明らかな陰影欠損が認められ、これによるいわゆる“やぶにらみ”でcheckされた症例である。幽門輪に近い前庭部病変の診断の困難さを示す典型的な1例と考えられる。

2. 子宮がん検診症例研究会

日 時 平成12年11月26日(日) 午後3時

場 所 西部医師会館

挨拶

寺川直樹鳥取県成人病検診管理指導協議会子宮がん部会長と大石徹鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会委員長の挨拶があった。

1. 症例検討

鳥取大学医学部産科婦人科学教室助教授 紀川純三先生の進行により、車検診症例1例、施設検診症例5例について症例検討が行われた。

平成12年度症例研究会症例

氏名	生年月日	市町村名	検診月日	検診機関名	一次検診結果	精検機関名	精検結果	治療機関名
症例1 (M.F)	S.6.10.26	青谷町	H.11.4.27	車検診	CIS	県立中央病院	Squamous cell carcinoma	鳥取赤十字病院
症例2 (S.J)	S.29.2.22	米子市	H.9.7.7	富永産婦人科医院	CT a MD 頸管炎?	富永産婦人科医院		富永産婦人科医院
			H.10.7.11		CT			
			H.11.10.12		V MIC			
症例3 (T.Y)	S.16.3.30	米子市	H.9.12.19	国立米子病院	CT CIS MD b 腺異型	国立米子病院	moderate dysplasia	国立米子病院
			H.10.12.22		CT a moderate dysplasia MD b moderate+腺異型		severe dysplasia	
			H.11.12.9		V Sq.cell.ca		子宮頸癌 0期	
症例4 (M.M)	S.10.10.19	米子市	H.9.8.20	鎌沢産婦人科医院	CT candida	鳥大医学部附属病院		鳥大医学部附属病院
			H.10.7.17		CT			
			H.11.9.17		CT Sq.cell.ca MD small.cell.ca疑			
症例5 (O.H)	T.12.7.8	米子市	H.9.12.8	博愛病院	CT	鳥大医学部附属病院		鳥大医学部附属病院
			H.11.11.2		CT MIC MD severe dys+老人性変化			
症例6 (S.S)	T.13.6.25	米子市	H.11.11.30	中曾産婦人科医院	臨床診断にて体部癌疑 (体部細胞診標本なし)	鳥大医学部附属病院	子宮体癌 1a期	鳥大医学部附属病院

症例6は子宮体部癌

3 . 肺がん検診症例研究会

日 時 平成13年2月17日(土) 午後4時

場 所 鳥取県健康会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取市立病院 山下 裕

症例 : 50歳、男性

既往歴：特記事項なし

現症経過：職場検診で左肺上葉の異常影を指摘され、精査目的で来院。CT検査にて、1t. S1 + 2に胸膜牽引を伴う瘢痕様陰影を認める。CTガイド下生検を2回実施するも、腺癌を否定出来ないとの結果であった。診断、治療方針決定の目的で、胸腔鏡下に肺部分切除を施行。迅速組織診にて悪性は否定されたため、手術を終了した。永久組織診で活動性の部分を有する結核と診断されたため、治療目的で内科に転科した。

症例 : 59歳、女性

既往歴：特記事項なし

現症経過：肺癌検診にて、左下肺野の腫瘤影を指摘され、精査目的で来院した。CTにて1t. S9に1.5cm大のspiculaを伴う腫瘤を認め、強く腺癌が疑われた。生検で確診を得た後左肺下葉切除 + R2aリンパ節郭清を施行した。

病理組織診断は、papillary adenocarcinoma well diff. t₂ (p₂) n₀. m₀ stage bであった。

表は当院での平成12年度の肺癌手術症例である。発見動機と病期をみると、無症例発見例(ドック、検診、他疾患経過中偶然発見)に有症例と比較して、明かに病期の軽い症例が多く認められる。肺癌検診の有効性については疑問との意見があり、一施設の短期の検討で断言は出来ないが、無症状期での癌発見の努力は、必要と考える。

平成12年度肺癌手術症例

症例	年齢	性	発見動機	部 位	大きさ	病期	組織	手 術
①	48	M	ドック	左S1 + 2	3.4cm	b	腺	左上葉切除
②	78	M	有症状	右S10	8.0cm	b	扁	下葉、肝切除
③	75	M	有症状	左S3	7.0cm	b	特	左上葉切除
④	68	F	検診	右S3	2.0cm	a	腺	右上葉切除
⑤	72	F	有症状	右S10	3.0cm	b	腺	右下葉切除
⑥	61	F	ドック	右S2	3.7cm	b	腺	右上葉切除
⑦	74	M	有症状	右S5	3.0cm	a	大	右中葉切除
⑧	73	M	他疾患	右S8	1.5cm	b	腺	右下葉切除
⑨	76	M	他疾患	右S6	2.0cm	a	扁	S6区域切除
⑩	70	M	有症状	右S6	5.0cm	b	扁	右下葉切除
⑪	64	M	他疾患	左S1 + 2	3.0cm	b	扁	S1 + 2切除
⑫	73	M	検診	右S9	2.0cm	a	扁	右下葉切除
⑬	47	M	検診	右S1	2.2cm	a	腺	右上葉切除
⑭	71	M	有症状	右S8,9	5.8cm	a	扁	右下葉切除
⑮	64	M	有症状	左S9	7.0cm	a	腺	左下葉切除
⑯	60	F	ドック	右S5	1.9cm	a	腺	右中葉切除
⑰	65	F	有症状	右S6	7.0cm	a	扁	中下葉切除
⑱	59	F	検診	左S9	1.5cm	b	腺	左下葉切除
⑲	60	M	検診	右S1	4.0cm	b	腺	右上葉切除

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 吹野俊介

症 例：72歳、男性。

主 訴：胸部X線写真異常陰影

生活歴：タバコ指数 40本×50年

既往歴、家族歴に特記すべきことなし。

現病歴：平成11年の検診で胸部X線写真の異常陰影を指摘されたが放置していた。平成12年5月23日の検診で同様の指摘を受け、近医を受診し、8月3日検査目的で当院へ紹介となった。無症状である。

検査所見：末梢血、尿、一般生化学検査に異常なし。

CEA 2.6ng/ml、CA 19.9 43.1U/ml、SCC抗原 0.9ng/ml、サイトケラチン 2.8ng/ml、呼吸機能VC 3.46L (114.6%)、FVC 3.42L (113.2%)、FEV₁ 1.02.04L (59.6%)

胸部X線写真、胸部CTで右S6に3.5cm大の多結節性の腫瘤陰影を認め、CTガイド下生検で癌、分類不能の診断を得て、手術を施行した。手術は、右下葉切除、ND2aリンパ節郭清を行った。右S6に3.2×3.0×2.0cmの低分

化扁平上皮癌、pT₂N₀M₀、pStageIB、p₀d₀epm₀ (p₀) という病理病期であった。術後経過は良好である。

本症例は前年に検診で異常を指摘されたにもかかわらず、精密検査を行う施設への受診をしなかった。1年後にようやく精査、手術となったが、病期は1段階進んでしまったと考えられる。当院の5年生存率でいえば15%の低下である。

従来より、検診で異常をチェックされた場合のその後のfollow upが不明であり、せっかくの検診も意義を半減させる結果となる。今後の検診チェック例の精密機関受診の有無を確認する制度の必要性を考えさせられた症例であった。

〔西部症例〕

提出者：鳥取大学医学部第二外科 中村 廣 繁

症 例：73歳、女性。

主 訴：胸部X線異常陰影

臨床経過：平成12年5月の検診で胸部X線上、左肺尖部に異常陰影を指摘された。平成10年、平成11年の検診はC判定で今回の写真と比較すると、やや陰影の増強はあるが大きな変化は認めなかった。精査の結果、胸部CTで異常を指摘された左肺尖部は陳旧性石灰化陰影であったが、たまたま右側のS6に約2cm径のスリガラス陰影を認め、CTガイド下針生検で肺腺癌と診断された。手術は胸腔鏡補助下の右肺下葉切除＋縦隔リンパ節郭清を施行した。病理検査は高分化肺胞上皮型腺癌で、癌細胞は肺胞構築の改変なく進展し、野口分類typeB、pT₁N₀M₀、E₀、D₀、p₀、PM₀、stage IAと診断された。

本症例は検診で指摘された以外の部位から癌が発見されたため、いわゆる“やぶにらみ”肺癌に相当する。しかも振り返って胸部X線を読詠しても、異常を指摘するのは困難であるため、見落とし癌ではなく、偶然発見癌ということになる。検診で発見された“やぶにらみ”肺癌は1)見落としやすい部位に存在。2)既存肺疾患の存在。3)小型肺癌が多い。4)早期肺癌が多い。5)予後がよいのでは？という特徴が考えられる。“やぶにらみ”肺癌は発見されれば結果オーライであり、これは検診の一効果と考えてもよいと思われる。従って、肺がん検診の精密検査においては、1)検診で発見された以外の部位にも注意を払って読詠すること。2)既存肺疾患の精査も含めて、積極的にヘリカルCT精査を行うことが大切と考えられた。

4 . 乳がん検診症例研究会

日 時 平成12年 8 月 5 日 (土) 午後 3 時30分

場 所 西部医師会館

〔西部症例〕

提出者：日野病院 岡 野 一 廣

78才、女性。

毎年6月に乳癌検診を受けていた。平成11年6月も受診、特に異常は指摘されなかった。本年1月頃左乳房の腫瘤に気づいたが放置、平成12年6月2日乳癌検診を受け左乳癌を疑われ、要精査となった。6月6日当院受診、左乳房AC領域に2cm大の腫瘤を、AB領域に2cm大の結節を触知、腋窩リンパ節も1個固く触れた。マンモグラフィー、超音波検査、穿刺吸引細胞診で乳癌と診断した。7月3日、腫瘤は2cm以下であったが、マンモグラフィーで広範な微細石灰化を認めたため、胸筋温存乳房切除術を施行した。病理診断では乳頭腺管癌で、病期 (t_1 、 n_2 、 m_0) であった。

〔西部症例〕

提出者：博愛病院 衣 笠 陽 一

平成11年溝口町の依頼でマンモグラフィー同時併用検診を171名に行い1名の乳癌が発見されたので報告した。症例は41歳女性。平成11年11月13日当院でマンモグラフィー同時併用検診を受け要精査となった。

マンモグラフィーで右乳腺に石灰化が散在性に存在し、一部集簇した部位が認められた。触診では両側乳腺上外側に硬結を触知した。超音波エコーMRIでは特記すべき所見は無かった。ステレオガイド下に集簇した石灰化部分の針生検を行い、捺印細胞診では悪性が疑われたが永久組織診では判定不能との返事であった。しかし、放置は危険と考えステレオガイド下にマーキングを行い集簇した石灰化した部位を円状部分切除を行った。組織は非浸潤癌との結果であった。断端近傍まで癌細胞が及んでいたため、全麻下に4分の1切除を行った。癌の遺残は無かった。

マンモグラフィー併用検診は乳癌の発見に有効であり、また、読影基準の徹底や検診者のlevel upが必要不可欠であると思われた。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 大 谷 眞 二

64歳女性。

過去8年間、乳癌検診を受診していたが異常を指摘されたことはなかった。平成12年の乳癌検診で左乳房腫瘤を指摘され近医を受診した。左乳房A領域に2cmの腫瘤が認められ、穿刺吸引細胞診が行われた。結果はclass であったが、画像上悪性が疑われた

ため、組織生検が行われた。結果は浸潤性乳管癌であった。諸事情で当科紹介となり、左胸筋温存乳房切除術が行われた。切除された乳腺に癌組織の遺残はなかったが、術前には指摘されなかった多数の腋窩リンパ節転移が認められた。本例では生検施設と手術施設が別の医療機関であったこと、原発巣が小さかったことなどの理由で術前の検索が不十分であった。乳癌の特性を把握した上で、医療機関間の密な連携が必要である。

5 . 大腸がん検診症例研究会

日 時 平成12年 8月26日(土) 午後 4時

場 所 中部医師会館

東・中・西部読影委員会より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取県立中央病院 秋 藤 洋 一

72歳、女性

現病歴：平成10年大腸癌検診にて便潜血陽性指摘されるも受診せず。平成12年 3月13日の大腸癌検診にて便潜血陽性指摘され、5月24日当科初診。6月8日total colonoscopyにてRbの spを指摘。6月26日注腸造影。7月6日EMR施行。

既往歴：特記事項なし

大腸内視鏡所見：直腸(Rb)に多房傾向で表面一部凹凸のある spを認めた。

注腸造影：直腸(Rb)に多房傾向のある隆起性病変を認め、はっきりとした側面変形は認めなかった。

組織診断：well diff. adenocarcinoma

(CIS + Tubulovillous adenoma/ly₀ v₀ mw₀)

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 佐 藤 徹

46歳、男性。

7、8年前に大腸癌検診にて要精検とされ、大腸内視鏡検査を受け、ポリープを指摘され、ポリペクトミーを受けた。以後2年おきに大腸内視鏡検査を受けていた。

平成11年11月26日、大腸内視鏡検査。

パウヒン弁を取り囲むような表面顆粒状の隆起性病変を認めた。

平成11年12月1日、精査目的に入院。

平成11年12月6日、注腸造影検査。

パウヒン弁は腫大し、顆粒状の粘膜面が一部描出された。

平成11年12月8日、大腸内視鏡検査再検。

生検組織診断は、poorly differentiated adenocarcinoma.

平成11年12月28日、右半結腸切除術施行。

パウヒン弁を取り囲む4×3.5cmの病変、進達度は、ssであった。

〔西部症例〕

提出者：博愛病院 山 藤 由 明

67歳、女性

主 訴：自覚症状なし

既往歴：33歳、甲状腺癌にて手術、47歳、糖尿病

現病歴：平成10年11月の市大腸検診にて便潜血陽性を指摘され、精査を希望し、平成11年1月12日当院外来受診した。

現 症：身長152cm、体重45kg、血圧140/70mmHg

頸部に手術痕を認める他は異常所見なし

臨床検査：便潜血+ / -、尿糖+、FBS220mg/dl、HbA1c8.4%、T cho248mg/dl

他異常値なし。CEA1.9mg/ml、CA19.9 2.8U/ml

注腸造影：側面、斜位にてS状結腸に角状変形を伴う、立ち上がりの急峻で平坦な隆起性病変を認めしたが、他の写真では明らかな異常所見を指摘し得なかった。

大腸内視鏡所見：ヒダの集中を伴い、中央に陥凹を有す隆起性病変を認め、また、空気の増減により形状の変形は認めない。 a+ c、sm massiveと診断。

切除標本：10×10mmの c

組織所見：Moderately differentiated adenocarcinoma, sm massive

今回の症例により大腸注腸造影の際、二重造影を確実に施行すること、及び、多方向からの撮影の重要性を再認識した。

6 . 肝臓がん検診症例研究会

日時 平成13年2月24日(土) 午後4時

場所 中部医師会館

東・中・西部地区より症例を提示し、症例検討を行った。

〔東部症例〕

提出者：鳥取赤十字病院 松田裕之

症例：68歳・女性。

既往歴：特記事項認めず

家族歴：特記事項認めず

現病歴：平成7年肝臓がん検診の際、C型慢性肝炎を指摘されて以来近医通院加療中、平成12年10月超音波検査上肝SOLを指摘され、精査のため当院受診。

入院時検査成績：GOT 57U/l、GPT 65U/l、Alb 4.3g/dl、T. Bil 0.6mg/dl、PT 113%、ICG 8%、AFP 8 ng/ml

画像診断のまとめ：超音波検査 S3径15mm hypo echoic lesion

ダイナミックCT 同部 iso ~ high ~ iso

CT AP 同部 defect (+)

CT A 同部 stain (+)

DSA 同部 stain (+)

以上より、C型慢性肝炎に合併した肝細胞癌と診断された。

診断：肝細胞癌、T1・臨床病期1期

治療：平成12年12月S3部分切除施行。腫瘍径15×14mm、中分化型肝細胞癌、非癌部は(F2、A2)の慢性肝炎像であった。

考察：肝臓がん検診によりC型慢性肝炎を指摘され、定期超音波検査により小肝細胞癌が診断された典型的症例。慢性肝炎症例のフォローアップにおける定期超音波検査の重要性があらためて認識された。

〔中部症例〕

提出者：鳥取県立厚生病院 仙田哲朗

84歳、男性。

糖尿病で近医に通院中、上腹部に腫瘤を自覚し当院紹介となった。特に肝疾患を指摘されたことは無く、輸血歴もなかった。

検査データでは軽度の肝機能異常を認める程度で、膠質反応も正常であったが、PIVCA は4万3千と異常高値を示した。

超音波では、肝左葉外側区から尾側に突出する径約10cmの腫瘤で、ダイナミックCT、MR、血管造影、CTAP、CTAの総合画像診断から、腫瘤は小網から寄生栄養を受ける肝左葉原発の肝癌で、右後区に肝内転移を有し隣浸潤はない状態と診断した。消化管からのfeederを有するためchemoembolizationでのコントロールは不可能となるため、高齢ではあったが臨床病期 期と全身状態も良好であり手術が施行された。腫瘍は、肝左葉から有茎性に尾側に突出するEdmondson の原発性肝癌であった。四ヶ月後に転移病巣のchemoembolizationが施行され経過良好である。

原発性肝癌の約10%は、BC型肝炎ウイルスマーカーとは関係なく発症するものがあり、ウイルス肝炎肝硬変が基礎に内症例にも発症する事がある。本例では集学的治療で腫瘍のコントロールが可能であったが、超音波検査等を行い早期発見に努め、手遅れにならないよう注意する必要がある。

〔西部症例〕

提出者：山陰労災病院 岸本幸廣

最近1年間に経験した、巨大肝細胞癌を検討することにより、ウイルス性肝疾患の定期的なfollow upの必要性ならびに重要性について報告する。

巨大肝細胞癌の定義は一般的に結節型、塊状型、び慢性型の肉眼的形態に関わらず、腫瘍径が10cm以上のものとされている。対象は、平成11年10月から平成12年9月までの12ヶ月間に経験した肝細胞癌症例38例である。男性33例、女性5例、年齢は32歳から83歳までで、平均62歳であった。ウイルス別症例数はB型12例、C型25例、NBNC型1例である。肝細胞癌の大きさ別症例数は、巨大肝細胞癌は38例中8例（21%）、腫瘍径が2cm以下のいわゆる細小肝細胞癌は16例（42%）であった。肝細胞癌の大きさ別の経過観察率は、巨大肝細胞癌は8例中8例の全例が定期的な経過観察を受けていなかった。逆に5cm未満の肝細胞癌26例中23例（89%）が定期的な経過観察がなされていた。検討した1年間の期間内における、肝細胞癌の大きさ別死亡率を示す。巨大肝細胞癌は8例中4例（50%）が既に死亡されていて、死因は全て癌死であった。また死亡までの期間は全例6ヶ月以内であった。5cm未満では26例中2例（8%）が死亡されていて、死因はいずれも肝硬変による肝不全であった。

以上のように、巨大肝細胞癌は定期的な経過観察がなされていないウイルス性肝疾患症例からの発見が多く、また癌が発見されてからの予後は非常に不良であった。なるべく小さな肝癌を見つけ、その予後をより良くするためには、定期的な経過観察が重要かつ必要な事のひとつと考えられた。

症例呈示：70歳、男性。主訴は胃もたれ感。飲酒歴、輸血歴はなし。平成8年の肝癌検診にてHBs抗原陽性を指摘され、その後近医にて不定期に通院していた。近医初診時既にseroconversionしており肝機能は正常範囲内であった。平成12年7月胃のもたれ感

で受診した際、AFPの上昇および腹部エコー検査にて肝腫瘤を指摘され、当科紹介入院となった。腹部超音波検査では、肝臓全体にび慢性の肝内小結節および肝内構造の粗造像がみられ、門脈本幹も殆ど腫瘍塞栓で占められていた。DSAでは、肝の両葉にび慢性の腫瘍濃染像を認めた。CT AP所見では肝の両葉にび慢性の低吸収域が多数認められた。び慢性肝細胞癌と診断し、リザーバーにて治療を行ったが、3ヶ月後に死亡された。その他、巨大肝細胞癌の2症例について症例を呈示した。

協力者：西向栄治、謝花典子、古城治彦、三浦邦彦、野坂仁愛、若月俊郎、竹林正孝、
鎌迫陽、谷田理

7. 各地区がん検診症例検討会開催状況

事業名	東 部			中 部			西 部			合 計		
	回 数	症 例 数	参加者 延べ数 (人)	回 数	症 例 数	参加者 延べ数 (人)	回 数	症 例 数	参加者 延べ数 (人)	回 数	症 例 数	参加者 延べ数 (人)
胃 が ん	12	26	532	6	23	161	23	2,972	552	41	3,021	1,245
子宮がん												
肺 が ん	4	14	67	11	57	130	10	65	57	25	136	254
乳 が ん	1	8	50	1	3	24	1	9	53	3	20	127
大腸がん	9	11	366	6	11	163	23	359	552	38	381	1,081
合 計	26回			24回			57回			107回		

．各がん検診精密検査医療機関登録について

平成10年度鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会及び各がん部会並びに鳥取県健康対策協議会各がん対策専門委員会において、がん検診の有効性向上のため、精度管理上、各がん検診精密検査医療機関登録の登録基準について、統一基準が決定致しました。これに基づき、各がん検診精密検査医療機関登録実施要綱等が次のとおり改正され、平成11年度以降の登録更新から適用することになりました。

なお、登録手続きは従来と同様に、地区医師会経由で申請を受付ます。ご不明の点がありましたら、鳥取県健康対策協議会事務局（☎0857 27 5566）へお問い合わせ下されば幸いです。

記

1．改正の要点

- ① 平成11年度以降の登録更新から従事者講習会等の出席状況を点数化し、点数基準を満たしたのものについてのみ登録する。
- ② 登録基準点数は原則として、従事者講習会は5点、各地区症例検討会等、各ブロック学会等は3点とする。
- ③ 点数の取得は担当医師ごととし、申請書の様式は、出席状況が確認できるよう改正を行う。
- ④ 新規開業、県外転入等の場合についても同様に取り扱う。
- ⑤ 担当医師が非常勤の場合は登録を認めない。

2．次回の更新時期

名 称	更 新 日	手続実施時期	従事者講習会等 受講点数対象期間
胃 が ん	H15.4.1～	H14年度中	H12.4.1～H15.3.31
子 宮 が ん	H15.4.1～	H14年度中	H12.4.1～H15.3.31
肺 が ん	H14.4.1～	H13年度中	H12.4.1～H14.3.31
乳 が ん	H14.4.1～	H13年度中	H11.4.1～H14.3.31
大 腸 が ん	H14.4.1～	H13年度中	H11.4.1～H14.3.31
肝 臓 が ん	H16.4.1～	H15年度中	H13.4.1～H16.3.31

大腸がん、肝臓がんは更新日から3年間、その他は更新日から2年間で登録期間とする。

あ と が き

検診事業の運営上、重要な一面を占める精度管理については、成人病検診管理指導協議会の各部会と鳥取県健康対策協議会の各検診対策専門委員会との合同会議で検討を重ね、会長の言葉にもあるように一層の向上に努めております。

鳥取県で実施している各種がん検診の実績を全て公表し、精度管理について評価、批判を戴くための報告書の第7報です。

この報告書は単年度のがん検診の詳細な全体像も一覽いただけるものと考えます。この点においても参考にして戴ければ幸いです。

ただ、がん検診実績は追跡調査、予後調査まで含まれているため、前年度の実績内容となっておりますので、ご承知下さい。

編集にあたり、各部会長、各専門委員長の先生方には多々御助言を戴きました。厚く御礼申し上げます。平成13年度は新しくアレルギー性疾患対策専門委員会を設置しております。

最後に、発刊に際し、今年度は県医師会理事明島淳亮先生、宮崎博実先生には大変な御苦勞をおかけしました。また、県医師会事務局の岩垣陽子さん、小林昭弘さんには何時もの様に強力なお手伝を頂きました。

皆様に心から御礼申し上げます。

鳥取県健康対策協議会

理 事 岡 本 公 男